ALINCO

PS0967
FNFN-NE

特定小電力ハンディトランシーバー
（総務省技術基準適合品）

DJ-PX7

取扱説明書

本書には基本的な操作方法を記載しています。
詳細機能については弊社ホームページをご覧ください。

本製品は別売りのイヤホンと充電器が必要となります。ご使用になるときは背面のゴムキャップを取り外し、10番スイッチをONにします。

アルインコの製品をお買い上げいただきましてありがとうございます。
本製品は免許、資格不要の特定小電力無線電話です。日本国内なら誰でも用途を問わず、各種通信にお使いいただけます。
本製品の機能を十分に発揮させ効果的にご使用いただくため、この取扱説明書をご使用前に最後までお読みください。アフターサービスなどについても記載していますので大切に保管してください。また補足シートや正誤表などが入っている場合は合わせて保管してください。ご使用中の不明な点や不具合が生じたとき、お役に立ちます。

アルインコ株式会社　電子事業部

東 京 支 店　〒103-0027　東京都中央区日本橋2丁目3-4　日本橋プラザビル14階　TEL.03-3278-5888
名古屋支店　〒460-0002　名古屋市中区丸の内1丁目10-19　サンエイビル4階　TEL.052-212-0541
大 阪 支 店　〒541-0043　大阪市中央区高麗橋4丁目4-9　淀屋橋ダイビル13階　TEL.06-7636-2361
福岡営業所　〒812-0013　福岡市博多区博多駅東2丁目13-34　エコービル2階　TEL.092-473-8034

アフターサービスに関するお問い合わせは
お買い上げの販売店または、フリーダイアル 0120 0120-464-007
全国どこからでも無料で、サービス窓口につながります。
受付時間/　10:00～17:00 月曜～金曜（祝祭日及び12:00～13:00は除きます）
ホームページ　https://www.alinco.co.jp/ ＞事業案内＞電子事業部　をご覧ください。

使用前のご注意

■ご使用環境
本製品は防水、防じん構造ではありません。水分や粉じんが無線機内部に入って故障した場合、保証の対象にはなりません。水がかかる環境や高温多湿、直射日光があたるところ、粉じんが多い場所は避けてお使いください。汗や工場で出る鉄粉などは意識していなくても内部に入りがちですので特にご注意ください。

■分解しないで
特定小電力トランシーバーの改造、変更は法律で禁止されています。分解したり内部を開けたりすることは絶対にしないでください。

■使用禁止場所
本製品は総務省技術基準適合品ですが、使用場所によっては思わぬ電波障害を引き起こすことがあります。次のような場所では使用しないでください。
（航空機内、空港敷地内、新幹線車両内、中継局周辺）
本製品を使用できるのは日本国内のみです。国外では使用できません。
This product is permitted for use in Japan only.

■通信距離
通話できる距離は周囲の状況や取り付け方によって大きく異なります。
・河原など障害物がない平地、見通しのよい道:200m程度
・市街地や住宅街など障害物が多い所:50 ～ 100m 程度
・店舗などの建屋内:30 ～ 50m 程度

注意
・建屋内の縦階層間の通信はフロアが障害物になるため、直線では数十メートル近距離であっても通信できないことがあります。このような場合は中継器を設置することで通信エリアを広げることができます。
・人体を含む障害物やアンテナの向き、歩くなど移動による影響を受けると、通信距離は半分程度まで短くなることがあります。
・トンネルのような閉鎖空間ではUHF電波伝搬の特性により近距離でも通話できないことがあります。

■第三者による傍受
電波を使用している関係上、無線機器の通信は第三者による傍受を完全に阻止することはできません。そのため機密を要する重要な通話に使用することができません。

■グループトーク機能について
従来製品とグループトークによる通話をおこなった際、受信音声が途切れることがあります。このような場合は違うグループ番号に設定変更してお試しください。

■バッテリーセーブについて
電池の消耗を防ぐ機能です。受信待ち受け状態で約5秒間キー操作がないと、この機能が動作します。信号を受信するか、キー操作でバッテリーセーブは解除されます。バッテリーセーブ動作時に信号を受信すると、通話の始めが途切れる場合がありますが、異常ではありません。

特定小電力の通信制限について

特定小電力トランシーバーの通信に関する制限事項について説明します。

3分制限（3分以上は連続で送信できません）

10秒前に警告音が鳴ります。通信時間が合計3分になると自動的に送信は停止します。
中継通話の場合も連続した中継動作が3分を超えるとタイムアウトします。

注意　3分の通信時間制限により自動的に通信が停止したあとは、約2秒たたないと送信できません。

キャリアセンス（受信中は送信できません）

一定の強さ以上の信号を受信しているときは[PTT]キーを押しても送信できません。
受信中に[PTT]キーを押すとアラーム音が鳴り、送信できないことをお知らせします。

注意　「ビープ音+音声ガイダンス」をオフに設定している場合、アラーム音が鳴りません。

付属品と取り付け方

付属品をご確認ください。
□ クリップ+ネジ1本（本体に装着済み）　□ストラップホルダー
□ 取扱説明書2枚　□保証書

注意　保証書にご購入の日付が記載されていないときは領収書やレシートを保証書といっしょに保管してください。ご購入日が証明できる書類がないと保証サービスは無効となりますのでご注意ください。

クリップの付け替え

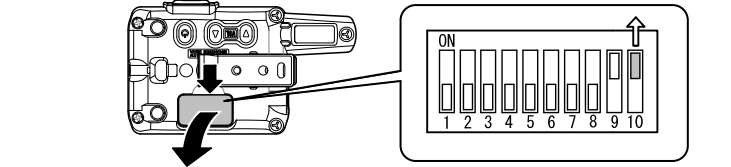
本製品のクリップは装着済みですが、使用する向きに応じて付け替えることができます。ネジを取り外し、クリップを逆向きに取り付けてください。
付属品以外のネジを使うと無線機本体が破損します。規格以外のネジは使用しないでください。

ストラップホルダー
市販のストラップをお使いになる際は、クリップを取り外し、ストラップホルダーに付け替えてください。ストラップを突起物にひっかけたり、シュレッダーのような機器に巻き込まれないよう注意してください。けがの原因となります。

メモ　本製品はアンテナを上に向けて装着するのが基本です。マイクが2個搭載されており、上下逆に装着する際は9番スイッチを切り替えて使用するマイクを選択します。

注意　定期的にクリップのネジにゆるみがないか点検してください。クリップは消耗品です。保守部品（EBC-44）として販売しています。お買い求めの際は販売店にご相談ください。

お使いになる前に（内蔵バッテリーについて）

本製品にはリチウムイオンバッテリーが内蔵されていますが、出荷時には十分に充電されていません。ご使用になる前に主電源（10番スイッチ）を入れ、別売オプションの充電器で満充電してください。スイッチの切り替えには先端が鋭利ではないものをお使いください。設定完了後はゴムキャップを元どおりに取り付けてください。

注意
・本製品をしばらくご使用にならないときは安全のためや、リチウムイオンバッテリーの劣化防止のため主電源（10番スイッチ）をOFFにしてください。
・長期間保管される場合でも、リチウムイオンバッテリーの劣化防止のために1年に1度程度は満充電することをおすすめします。
・満充電しても使用時間が著しく短い場合はリチウムイオンバッテリーが寿命を迎えています。交換の際は販売店にご相談ください。
・リチウムイオンバッテリーは充電回数や使用状態の如何にかかわらず経年劣化する性質があります。安全にご使用いただくため3年程度を目途に新品への交換をおすすめします。

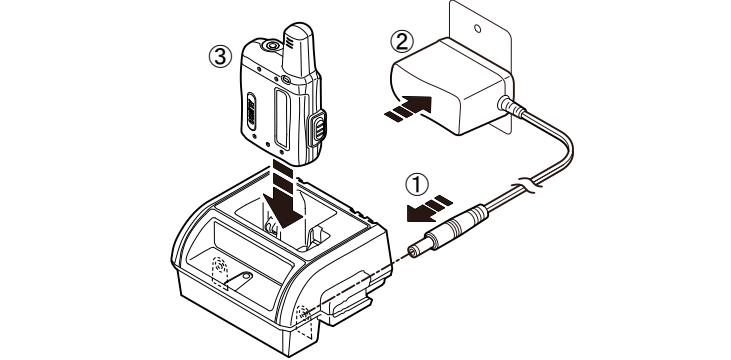
充電器（別売）

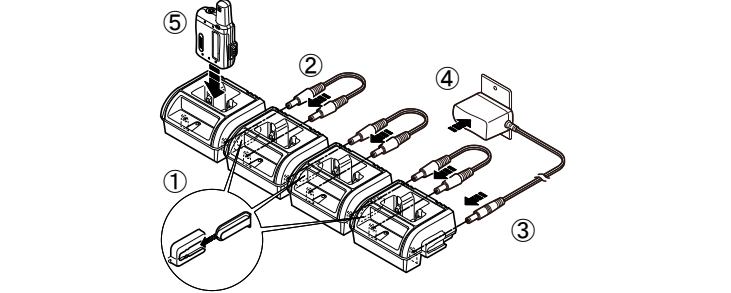
充電器及び関連製品は下記のとおりです。
●シングル充電器セット:EDC-207A（ACアダプター付属）　●5連充電スタンド:EDC-208R
●連結充電スタンド:EDC-207R（連結ケーブル付属）　●連結用ACアダプター:EDC-162

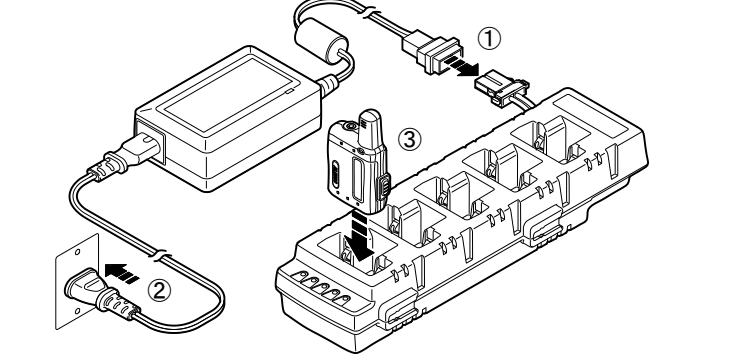
空のリチウムイオンバッテリーを満充電するのに要する時間は約3時間です。
充電器の動作温度範囲は0～+40℃です。

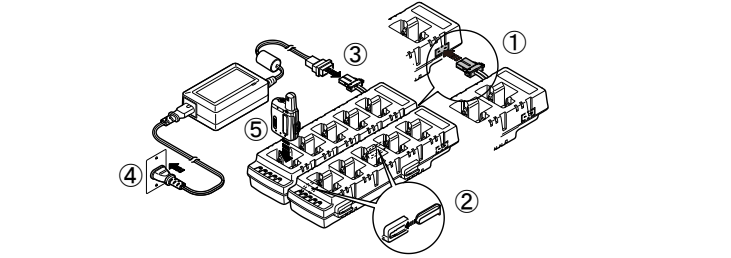
注意　充電するときは本製品の電源（電源キー）を切ってください。電源を入れたままだと満充電にならないことがあります。

シングル充電器セット（EDC-207A）の使用方法

①ACアダプターのプラグを充電スタンド裏面にある、いずれかのジャックへ接続します。
②ACアダプターを家庭用コンセントAC100Vへ接続します。
③本製品を充電スタンドのポケットへ挿入します。充電が開始すると赤色ランプが点灯します。
④充電が完了すると緑色ランプが点灯します。

連結充電スタンド（EDC-207R）の使用方法

シングル充電器に連結充電スタンドを3台まで接続し、最大で4台のトランシーバーを同時に充電できます。
①充電スタンド同士を連結します。
②充電スタンド裏面のジャックに連結ケーブルを接続します。
③ACアダプターのプラグを端の充電スタンド裏面のジャックへ接続します。
④ACアダプターを家庭用コンセントAC100Vへ接続します。
⑤本製品を充電スタンドのポケットへ挿入します。充電が開始すると赤色ランプが点灯します。
⑥充電が完了すると緑色ランプが点灯します。

5連充電スタンド（EDC-208R）の使用方法

1台の充電器で最大5台のトランシーバーを同時に充電できます。
①充電スタンドと連結用ACアダプター（EDC-162）のコネクターを接続します。
②連結用ACアダプターを家庭用コンセントAC100Vへ接続します。
③本製品を充電スタンドのポケットへ挿入します。充電が開始すると赤色ランプが点灯します。
④充電が完了すると緑色ランプが点灯します。

5連充電スタンド（EDC-208R）の連結使用方法

5連充電スタンドを2台接続し、最大で10台のトランシーバーを同時に充電できます。
①充電スタンド裏面のコネクターを接続します。
②充電スタンド同士を連結します。
③一端の充電スタンドと連結用ACアダプターのコネクターを接続します。
④連結用ACアダプターを家庭用コンセントAC100Vへ接続します。
⑤本製品を充電スタンドのポケットへ挿入します。充電が開始すると赤色ランプが点灯します。
⑥充電が完了すると緑色ランプが点灯します。
⑦スタンドの連結を切り離す場合は、断線を防ぐために先に裏面のコネクターを抜いてください。

注意
・本製品及び充電器の充電端子はときどき乾いた布で掃除してください。汚れていると接触不良の原因となります。
・本製品をいずれかのポケットに挿入すると赤色ランプが点灯するが、別のポケットに挿入すると緑色ランプが点灯する、またはその逆の動作をすることがあります。充電開始・完了を決定する回路の個体差により、このような動作をすることがありますが異常ではありません。
・主電源を入れていない状態で充電器に挿入すると赤色・緑色ランプが点滅することがありますが、一時的に微小な電流が流れるためであり異常ではありません。充電する際は、主電源が入っていることを確認してください。

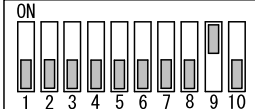
各部の名前とはたらき

前面

マイク
本製品には上下に2個のマイクを搭載しています。お使いになる向きに応じて9番スイッチを切り替えてください。

注意
・マイク穴にシール類を貼り付けないでください。送信する際の音声を拾わなくなります。
・イヤホンのケーブルに無理な力が加わって断線しないよう、取り扱いにはご注意ください。

背面

設定スイッチ
出荷時は9番以外のスイッチがOFFになっています。ご使用になる際は、主電源をONに切り替えてください。

	項目	初期値	設定スイッチ
1	交互通話/中継通話	交互通話	
2	グループトーク	オフ	
3	PTTホールド（送信保持）	オフ	
4	VOX（音声検出送信）	オフ	
5	ビープ音+音声ガイダンス	オン	ON
6	コンパンダー（雑音低減）	オフ	
7	エンドピー（送信終了音）	オフ	
8	コールバック（音声モニター）	オフ	
9	マイク選択	マイク2	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10
10	主電源	オフ	

各機能説明は弊社ホームページをご覧ください。
https://www.alinco.co.jp/ 「製品情報＞通信技術＞ダウンロード」

基本操作

本製品の基本となる操作方法を説明します。

本書に記載していないカスタマイズ方法や拡張機能については、弊社ホームページをご覧ください。https://www.alinco.co.jp/ 「製品情報＞通信技術＞ダウンロード」

音声ガイダンス

本製品はチャンネルやグループなどの設定内容、及び各状態を音声ガイダンスでお知らせします。本書では音声ガイダンスが動作することを「鳴ります」と表記しています。

キー操作

「キーを押す」とは、短く押すことを指します。
「キーを長押し」とは、約2秒間押し続けることを指します。

主電源を入れる

ゴムキャップを取り外し10番スイッチをONにします。

電源を入れる

電源キー長押しします。ランプが青色点灯し、チャンネルとグループが鳴ります。電源を切るときも同じ操作で「ププ」音が鳴り消灯します。

電源が入っているときに電源キーを押すと、チャンネルとグループが鳴り、設定内容を確認できます。

イヤホン断線検知機能

電源を入れた直後にランプが赤色と緑色に交互点滅していたらイヤホンが断線しています。プラグが緩んでいないか接続状態を確認し、故障していたら新しいものにお取り替えください。

音量を調整する

▽/△キーを押すと「ピッ」という音が鳴り音量が切り替わります。キーを押し続けると連続して音量が切り替わります。▽/△キーを同時に押して放すと「ザー」というノイズが鳴り音量調整の目安となります。適切な音量に調整してください。

注意 イヤホンを使用するときはあらかじめ音量を下げてください。音量を大きくし過ぎると聴力障害の原因となるおそれがありますので、小さい音から徐々に上げて調整してください。

送信する

PTTキーを押している間送信します。ランプが赤色点灯することを確認し、マイクに向かって話します。PTTキーを放すと受信待ち受け状態になります。

中継通話も同様にPTTキーを押し続けます。「ピピ」音が鳴って中継器にアクセスします。そのままPTTキーを押しながらマイクに向かって話します。
（別途中継器が必要です）

一定の強さ以上の信号を受信しているときはキャリアセンスがはたらき、「ブブブ」音の警告音が鳴り送信できません。受信信号がなくなり、ランプが緑色から青色に変わったら送信できます。5番スイッチがONの場合は警告音は鳴りません。

コールトーン機能

送信中に▽/△キーを押すと呼出音が送出され、相手を呼び出すことができます。
5番スイッチがONの場合は呼出音は鳴りません。

受信する

電波を受信するとランプが緑色点灯し、イヤホンから相手の声が聞こえます。

本製品にはテールノイズキャンセラー機能が搭載されています。受信終了時の「ザッ」というノイズが低減されています。本機能を搭載した弊社機器間の通話においてのみ有効です。

チャンネル設定

交互通話20チャンネル、中継通話27チャンネルの中から使用するチャンネルを選択できます。交互または中継であるかは、1番スイッチの設定で選択できます。
（中継通話の際は別途中継器が必要です）
チャンネルを選択するには△キーを押しながら電源を入れます。ランプが黄色点灯し「チャンネルを選択してください」が鳴ります。▽/△キーを押してチャンネルを選択するとチャンネル番号が鳴ります。そのまま5秒間放置するか、PTTキーを押すと設定が完了します。

既に運用しているグループに本製品を導入する場合は、後述の「ACSHモード」を使用するとチャンネルとグループ番号が自動で設定できます。

グループトーク機能

同じグループの人とだけ通話したいときはグループトーク機能を設定します。同じグループのトランシーバーは全て同じグループ番号に設定してください。グループ番号は50通りの中から一つを選択してください。

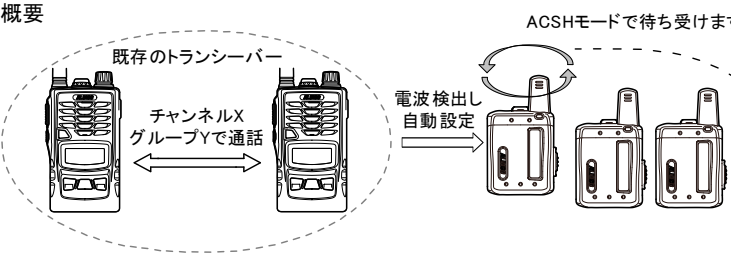
グループ番号の設定

2番スイッチをONにして▽キーを押しながら電源を入れます。ランプが紫色点灯し「グループを選択してください」が鳴ります。▽/△キーを押してグループを選択するとグループ番号が鳴ります。そのまま5秒間放置するか、PTTキーを押すと設定が完了します。

初期状態は01番に設定されており一般的によく使用されます。混信を避けるために01番以外の設定をおすすめします。

チャンネルとグループ番号の自動設定

ACSH「アクシュ」モード（Auto Connect Shake Hands）について説明します。
既に使用しているトランシーバーのチャンネルとグループ番号をスキャンして検出し、本製品に同じものを自動設定する機能です。
キー操作によるチャンネルとグループ番号の設定作業が省略できます。本製品は交互通話及び中継通話においてご使用いただけます。複数台を同時に設定することができます。

概要

ACSH「アクシュ」モード

① ACSHモードで自動設定するトランシーバー（本製品）と、既にご使用中の設定もと（設定済み）トランシーバーを準備します。設定もとトランシーバーはあらかじめ電源を入れておきます。

② 本製品の電源を切った状態で「アクシュモードです」と鳴るまで電源キーを押し続けます。（約7秒間）
ランプが青色と緑色の交互点滅します。複数台を同時に設定する場合は、他の個体も同じ状態にします。

③ 「設定もととなるトランシーバーを送信してください」と鳴り電波の検出を開始します。既にご使用中の設定もとトランシーバーを送信状態にします。このまましばらくお待ちください。数秒から最長で2分程度要することがあります。

④ 電波を検知すると「ピピ」音が鳴りランプが青色点滅します。

⑤ 自動設定が完了すると「自動設定が完了しました」と鳴りランプが緑色点滅します。

⑥ お知らせ後「ププ」音がなり自動的に電源が切れます。電源キーを長押しして電源を入れ直し、正しく通話できることを確認してください。

ACSHモードで自動設定後に各種キー・スイッチ操作でのチャンネルやグループの変更はできませんのでご注意ください。

・ACSHモードでの自動設定は誤判定を防ぐため近距離でおこなってください。近くに強力な外来電波があると誤判定することがあります。

・自動設定中は電源を切らないでください。正しく設定されないことがあります。ACSHモードの動作を途中で停止したいときは電源を切ってください。

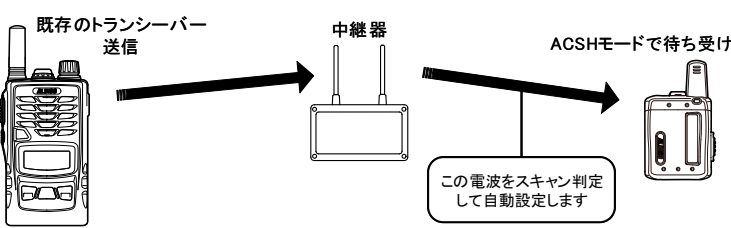
・ACSHモードを起動し本製品が電波を検出しているときは、送信側（設定もと）機器のマイクから音声が入らないようにご注意ください。不要な音声により電波が乱されて正常に判定できないことがあります。

・グループ番号の検出においてトーン周波数が近いものは動作が不安定であったり、誤判定することがあります。（例：01番「67.0Hz」と39番「69.3Hz」など）数回検出を試してみても誤判定する場合は、グループ番号を01～38番の範囲に設定してご使用ください。

・自動設定後に手動でチャンネルやグループ番号を変更する場合は、リセットしてください。リセットするとACSHモードで自動設定した内容は消去されますのでご注意ください。

・ACSHモードでの自動設定は本製品のアンテナを上向きにした状態でおこなってください。

中継子機とするとき

中継子機として自動設定する場合は、中継器が発する電波を受信する必要があります。本製品をACSHモードにして既存のトランシーバーから中継器にアクセスします。中継動作中に自動設定がおこなわれます。

注意 ・中継器の周波数帯をA(440MHz帯送信)に設定している場合は、ACSHモードによる自動設定はできません。
・中継器から発せられる電波をスキャンするときは、グループ信号が正常に判定できないことがあります。機器によりグループ信号の波形や精度が異なるためです。このようなときはグループ番号を01～38番の範囲に設定してご使用ください。

受信音ミュート

イヤホンを使用中の受信時に、一時的にイヤホンから聞こえる受信音量を下げる機能です。接客業などで接客中に受信音量を下げたい(ミュート)ときに活用できます。ハンド、タッチ、ボイスの3種類の設定ができます。

ハンド設定
① 1～2番スイッチをOFFにします。
② 本製品の電源を切った状態でランプが青色点灯するまで電源キーとPTTキーを同時に長押しします。
③ キーを放し「ブブブ」音が鳴ったあとに、「▽ → ▽ → △」の順番で押すと「受信音ミュート ***」が鳴り、ランプが黄色点滅します。
④ ▽/△キー操作で「ハンド」に合わせ、PTTキーを押すと青色点灯し設定が完了します。

操作方法
⑤ PTTキーを押すと「ピピ」音が鳴り受信音量が下がります。
⑥ 再度PTTキーを押すと「ププ」音が鳴りもとの音量に戻ります。

注意 ・ハンドでは送信開始までに遅延が起こるため、音声の始めが途切れる場合がありますのでご注意ください。
・受信音量を下げたあとに一定時間無操作が続くと自動的にもとの音量に戻ります。
・VOX、PTT ホールド機能設定時は受信音ミュートが使用できません。
・ミュート状態でのキー操作はミュートが解除されます。

タッチ設定
① 1～2番スイッチをOFFにします。
② 本製品の電源を切った状態でランプが青色点灯するまで電源キーとPTTキーを同時に長押しします。
③ キーを放し「ブブブ」音が鳴ったあとに、「▽ → ▽ → △」の順番で押すと「受信音ミュート ***」が鳴り、ランプが黄色点滅します。
④ ▽/△キー操作で「タッチ」に合わせ、PTTキーを押すと青色点灯し設定が完了します。

操作方法
⑤ 選択しているマイク付近を軽くタッチすると「ピピ」音が鳴り受信音量が下がります。
⑥ 再度軽くタッチすると「ププ」音が鳴りもとの音量に戻ります。

・タッチする場合は本製品に強い衝撃を与えたり、高所から落下させたりしないでください。ケースの破損や故障の原因となります。
・タッチではバッテリーセーブ機能が動作せず電池の消耗が早くなりますので、ご注意ください。
・受信音量を下げたあとに一定時間無操作が続くと自動的にもとの音量に戻ります。
・VOX、PTT ホールド機能設定時は受信音ミュートが使用できません。
・ミュート状態でのキー操作はミュートが解除されます。

ボイス設定
① 1～2番スイッチをOFFにします。
② 本製品の電源を切った状態でランプが青色点灯するまで電源キーとPTTキーを同時に長押しします。
③ キーを放し「ブブブ」音が鳴ったあとに、「▽ → ▽ → △」の順番で押すと「受信音ミュート ***」が鳴り、ランプが黄色点滅します。
④ ▽/△キー操作で「ボイス」に合わせ、PTTキーを押すと青色点灯し設定が完了します。

操作方法
⑤ 選択しているマイクに話すと「ピピ」音が鳴り受信音量が下がります。話している間は保持します。
⑥ 話し終わると一定時間後に「ププ」音が鳴りもとの音量に戻ります。

・話している音声以外で誤動作してしまう騒音の大きい場所では、使用できません。
・ボイスではバッテリーセーブ機能が動作せず電池の消耗が早くなりますので、ご注意ください。
・受信音量を下げたあとに一定時間話している音声がなくなると自動的にもとの音量に戻ります。
・VOX、PTT ホールド機能設定時は受信音ミュートが使用できません。
・ミュート状態でのキー操作はミュートが解除されます。

拡張機能

拡張機能については弊社ホームページをご覧ください。
https://www.alinco.co.jp/ 「製品情報＞通信技術＞ダウンロード」

拡張機能一覧例	
エアクローン	機器間で設定内容を無線通信する機能です。
中継器リモコン	中継器−子機間で設定内容を無線通信する機能です。
連結中継子機	連結中継システム（別売 DJ-U3R）にアクセスするモードです。
アプリ設定	スマートフォンのアプリで本製品を設定するモードです。

減電池お知らせ

バッテリーの電圧が低下するとランプが青色点滅してお知らせします。さらに低下すると点滅周期が速くなるとともに「充電してください」が定期的に鳴ります。本製品の電源を切り充電器に挿入して充電してください。

リセット（初期化）

本製品を初期化するには電源を切った状態で電源+△+PTTキーを5秒間押し続けます。途中でランプが青色点灯しますが、そのまま押し続けると黄色と紫色の交互点滅に変わり「初期化しました」が鳴ります。全ての設定内容は初期化され工場出荷状態へ戻ります。

故障とお考えになる前に

症状	原因	処置
電源が入らない ランプが点かない	主電源が入っていない	10番スイッチをONにしてください
	バッテリーが消耗している	充電してください
音が出ない 受信できない	音量が低すぎる	適切な音量にしてください
	相手とチャンネルが違う	同じチャンネルにしてください
	相手とグループ番号が違う	同じグループ番号にしてください
	相手と距離が離れすぎている	通信距離を目安に送信してください
送信できない	信号を受信している	信号がなくなってから送信してください
	3分の通信時間制限を超過している	PTTキーを放し2秒経過してから送信してください
送信音声が相手に聞こえない	マイクの選択が間違っている	正しい向きにマイクを選択してください
充電できない	充電端子が汚れている	充電端子の汚れをふき取ってください
	充電池が劣化している	新しい充電池に交換してください

充電池の残りが少ないとまれに誤作動することがあります。充電してください。

生産終了品に対する保守年限

生産終了後も5年間は補修用部品を在庫しています。不測の事態で欠品した場合には保守ができなくなることがありますのでご了承ください。

オプション一覧

EDC-207A	シングル充電器セット（ACアダプター付属）
EDC-207R	連結充電スタンド（連結ケーブル付属）
EDC-208R	5連充電スタンド
EDC-162	連結用ACアダプター（EDC-208R 5連充電スタンドに必要）
EME-66B（黒色）	カナル型イヤホン（ケーブル長：約50cm）
EME-67B（黒色）	耳かけ型イヤホン（ケーブル長：約50cm）
EME-67W（白色）	耳かけ型イヤホン（ケーブル長：約50cm）

定格

送受信周波数	Lチャンネル	421.8125～421.9125MHz
		422.2000～422.3000MHz
		440.2625～440.3625MHz
	bチャンネル	421.5750～421.7875MHz
		422.0500～422.1750MHz
		440.0250～440.2375MHz
制御チャンネル	422.1875MHz、421.800MHz、440.2500MHz	
電波形式	F3E（FM）、F1D(FSK)	
送信出力	10mW、1mW	
受信感度	−14dBu（12dB SINAD）	
音声出力	50mW以上（8Ω負荷）	
通信方式	単信、半複信	
定格電圧	DC3.7V（リチウムイオンバッテリー700mAh）	
消費電流	送信：約67mA（Hi）/約55mA（Lo） 受信定格出力：約102mA バッテリーセーブ：約20mA	
動作温度範囲	−10℃ ～ +50℃（充電：0 ～ +40℃）	
寸法	41.6（W）×52.6（H）×17.2（D）mm ※突起物除く アンテナ長：約22mm	
質量	本体（内蔵充電池含む） 44g 本体（内蔵充電池・ベルトクリップ含む） 50g	

・仕様、定格は予告なく変更する場合があります。
・本書の説明用イラストは実物とは字体や形状が異なったり、一部の表示を省略している場合があります。

・乱丁、落丁はお取り替えいたします。

DJ-PX7 セットモードマニュアル

アルインコ株式会社
電子事業部

はじめに…

この度はアルインコ特定小電力ハンディトランシーバー DJ-PX7 をお買い上げいただきまことに
ありがとうございます。
セットモードマニュアルは本製品をより使いやすくするために付属の取扱説明書にある設定スイッチの
内容を補完します。
ご使用前に付属の取扱説明書と合わせて、必ずお読みください。

本資料の使用に関して……

商標等について………

重要なご注意…………

付属の取扱説明書にあるチャンネルやグループ番号などを自分で設定していない方は、このセットモード設定も変更しないでください。本製品は設定を表示する液晶がないので、設定状態が分かりにくくなっています。誤って設定の変更やリセットした場合に「もとに戻したい」と相談されても、もとの設定が分からないためサポートができません。
管理者が居なくなった、誰が設定したか分からない、というときはすべての無線機をリセットして、新たに同じ設定に合わせこむのが一番早くて確実な方法です。

目次

1．設定スイッチについて

下図の通り本体背面のゴムキャップを取り外してスイッチを操作してください。
スイッチの切り替えには先端が鋭利ではないものをお使いください。
設定完了後はゴムキャップをもと通りに取り付けてください。

2．設定スイッチ表

	項目	初期値	設定スイッチ
1	交互通話/中継通話	交互通話	ON 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10
2	グループトーク	オフ	
3	PTTホールド(送信保持)	オフ	
4	VOX(音声検出送信)	オフ	
5	ビープ音+音声ガイダンス	オン	
6	コンパンダー(雑音低減)	オフ	
7	エンドピー(送信終了音)	オフ	
8	コールバック(音声モニター)	オフ	
9	マイク選択	マイク2	
10	主電源	オフ	

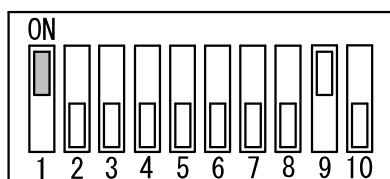
注意「3．セットモード項目」以降の設定スイッチでは 10 番スイッチ(主電源)を OFF にした状態で説明しています。動作確認する場合は 10 番スイッチを ON のまま、各設定値を切り替えてご確認ください。

３. セットモード項目

3-1　交互通話/中継通話

設定値 交互通話/中継通話（初期値：交互通話）

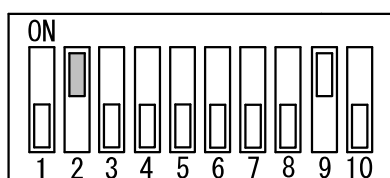
1 番スイッチを ON にすると中継通話用のチャンネルになります。

チャンネル設定は付属の取扱説明書を参考にキー操作で選択します。

注意 中継通話には別途中継器が必要です。中継器の周波数方向は B(440MHz 受信／421MHz 送信)に設定してください。

3-2　グループトーク

設定値 オフ/オン（初期値：オフ）

2 番スイッチを ON にするとグループトークができ、同じグループ番号に設定されているトランシーバーとだけ通話することができます。

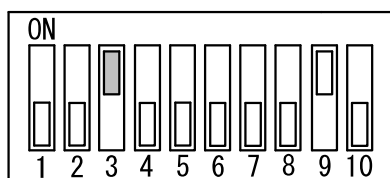
グループ番号の設定は付属の取扱説明書を参考にキー操作で選択します。

注意 グループトーク オフ設定時にグループ番号の設定をおこなった場合、「グループ　オフ」が鳴り設定できません。2 番スイッチを ON にして設定してください。

3-3　PTT ホールド（送信保持）

設定値 オフ/オン（初期値 オフ）

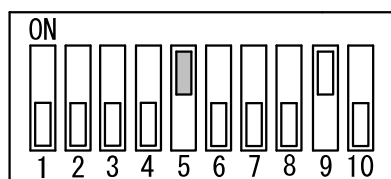
3 番スイッチを ON にすると PTT ホールドが設定されます。

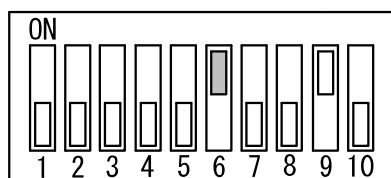
PTT キーを 1 度押すと送信状態を継続し、もう 1 度押すと待ち受け状態になります。

この機能を使用すると送信中に PTT キーを押し続ける必要がなくなります。

注意 VOX をオンにしているときは、PTT ホールドは使用できません。

3-4　VOX（音声検出送信）
設定値 オフ/オン（初期値 オフ）
4 番スイッチを ON にすると VOX が設定されます。
PTT キーを押さなくても自動的に送受信を切り替えることができる機能です。マイクに音声が入れば送信、音声がなくなれば受信待ち受け状態になります。

注意 ・話している音声以外で誤送信してしまう騒音が大きな場所では VOX を使用できません。
・VOX を使用すると音声入力から送信開始までに若干の遅延が起こるため、音声の初めが途切れる場合があります。「了解です、～」や「はい、～」など、要件を話す前に途切れても支障がないような言葉を挟んで話し始めると通話しやすくなります。
・連結中継モードでは VOX は使用できません。

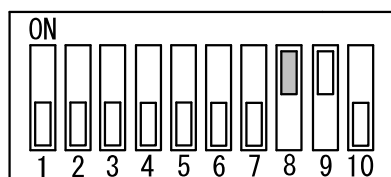
3-5　ビープ音＋音声ガイダンス
設定値 オフ/オン（初期値 オン）
5 番スイッチを ON にすると本製品から鳴るビープ音（操作音）と音声ガイダンスが鳴らなくなります。

注意 チャンネルやグループ番号、減電池お知らせなどのすべての音声ガイダンスが鳴らなくなりますのでご注意ください。

3-6　コンパンダー（雑音低減）
設定値 オフ/オン（初期値 オフ）
6 番スイッチを ON にするとコンパンダーが設定されます。
通話中に聞こえる「サー」というかすかなバックノイズを低減することができます。

注意 コンパンダー機能のないトランシーバーと通話する場合には必ずオフにしてください。かえって音質が悪くなることがあります。

3-7　エンドピー（送信終了音）
設定値 オフ/オン（初期値 オフ）
7番スイッチをONにするとエンドピーが設定されます。
PTTキーを離したときに「ピッ」と鳴って通話相手に送信が終わったことを伝える機能です。

メモ エンドピーは送信を終了したときに送信側から「ピッ」という音を発し、受信側にお知らせします。
本機能をオフ/オンするには送信側機器を設定してください。

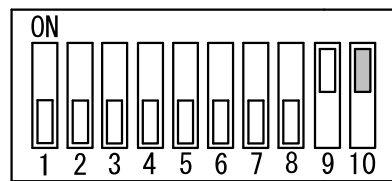
注意 ・連結中継モードではエンドピーは設定できません。
・エンドピピが設定されている場合は、エンドピーは設定できません。

3-8　コールバック（音声モニター）
設定値 オフ/オン（初期値 オフ）
8番スイッチをONにするとコールバックが設定されます。
送信中にイヤホンから自分の声が聞こえ話しやすくなります。

3-9　マイク選択
設定値 マイク1/マイク2（初期値 マイク2）
出荷時には9番スイッチがONになっており、マイク2が設定されています。
9番スイッチをOFFにすると、マイク1が設定されます。
トランシーバーの取り付け方向に応じてマイクを選択してください。

注意 ・本製品はアンテナを上向きで使用する事を想定し、出荷時はマイク2が設定されています。この使用方法だとアンテナの突起が邪魔になることがあります。アンテナが邪魔になるときは、マイク2に設定にして、背面のベルトクリップも逆に取り付け、アンテナを下向きにしてご使用ください。ただしアンテナを下向きで使用すると、送信ボタンを押すときに手がアンテナを覆って障害となり、通話距離は若干短くなりますので、ご注意ください。

3-10　主電源

設定値 オフ/オン（初期値 オフ）

10 番スイッチを ON にすることで電源キーでの起動や充電が可能となります。

・本製品をしばらくご使用にならないときは安全のためやリチウムイオンバッテリーの劣化防止のために10 番スイッチを OFF にしてください。

・充電する場合は 10 番スイッチを ON にして電源を切ってから充電してください。

DJ-PX7 拡張セットモードマニュアル

アルインコ株式会社
電子事業部

はじめに…

この度はアルインコ特定小電力ハンディトランシーバー DJ-PX7 をお買い上げいただきまことに
ありがとうございます。
拡張セットモードマニュアルは本製品をより使いやすくするための内容が記載しています。
ご使用前に付属の取扱説明書と合わせて、必ずお読みください。

本資料の使用に関して……

本資料の内容は予告なく変更することがあります。
本資料の転載・複製に関しましては、当社の許諾が必要です。
当社は本資料に記載されている情報等の使用に関して、当社もしくは第三者が所有する知的財産権
その他の権利に対する保証、実施、使用を許諾するものではありません。
本資料に記載されている情報等の使用に起因する損害、第三者所有の権利に対する侵害に関し、
当社は一切その責任は負いません。

商標等について………

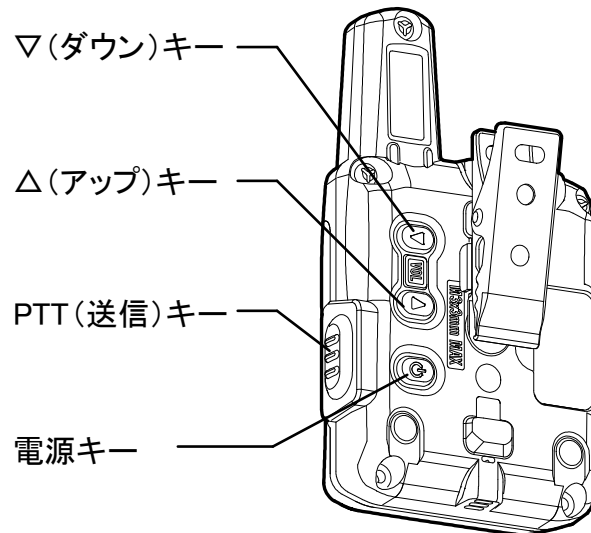
アルインコの社名とロゴは国内外で商標として登録されています。
その他、記載の商品名、会社名は、それぞれの会社の登録商標または商標です。

重要なご注意…………

付属の取扱説明書にあるチャンネルやグループ番号などを自分で設定していない方は、このセットモード設定も変更しないでください。本製品は設定を表示する液晶がないので、設定状態が分かりにくくなっています。誤って設定の変更やリセットした場合に「もとに戻したい」と相談されても、もとの設定が分からないためサポートができません。
管理者が居なくなった、誰が設定したか分からない、というときはすべての無線機をリセットして、新たに同じ設定に合わせこむのが一番早くて確実な方法です。

目次

1．拡張セットモード
DJ−PX7には、特定の環境やニーズによってカスタマイズできる拡張セットモードを持たせています。
通常の設定項目とは異なり意味を正しく理解しないと一部の機能が使えなくなるなど誤動作する可能性があるため、製品に付属の取扱説明書には記載しておりません。
拡張機能をご理解の上で必要に応じて正しく操作してください。

2．キー配置

3．設定項目
3−1　イヤホン断線検知
設定値　オフ/オン（初期値：オン）

イヤホンの断線を検知する機能です。
イヤホンが断線している場合、電源を入れた直後にランプが赤色と緑色に交互点滅します。入力インピーダンスが高い機器を接続する場合などはオフに設定することで断線検知を停止できます。

3−2　AGC 設定
設定値　オフ/オン（初期値：オン）

マイクに大きな音声が入った場合、通話音声が歪むことがあるのでオンにして歪みを抑えています。

注意　機種間の相性問題を解決できることがありますが、不用意に設定を変更するとかえって音質が悪化することがあります。

3−3　トーンマージン設定
設定値　オフ（NOL）/オン（SP）（初期値　オフ）

グループトークでのトーン信号の受信精度を調整することができます。従来製品との通話においてグループトークで受信音声が途切れる場合、オンにすることで受信しやすくなります。

注意　オンにした場合、グループ番号のトーン信号を誤検知する場合や受信終了時「ザッ」音が聞こえます。

3−4　PTT オン/オフ機能（受信専用）
設定値　オフ/オン（初期値　オン）

送信を禁止し受信専用にする機能です。オフにするとPTTキーを押しても送信できなくなります。

3-5　送信出力
設定値：High(10mW) / Low(1mW)（初期値　High 10mW）

送信時の送信出力を変更することができます。

・Low(1mW)に設定すると通話距離は短くなりますが、中継ビジネスチャンネル（b12～b29）に設定すると3 分制限なしの連続通話ができます。
・連結中継モードで中継器に設定値送信する際に、拡張セットモードで設定されている送信出力の設定値も送信されます。

3-6　中継設定
設定値　A/B（初期値　A）

中継器を使用するときの周波数帯変更することができます。
通常は初期状態の A で使用してください。

メモ　使用する中継器の設定を確認ください。周波数帯は中継器と逆に設定します。
中継器が A なら子機を B に、中継器が B なら子機を A にします。

3-7　中継接続手順
設定値　オフ/オン（初期値　オン）

中継動作自動接続手順を解除する機能です。接続タイミングを最適化する設定なので、中継器を使っていないときは変更する必要はありません。

3-8　マイク音量
設定値　1～7（初期値　4）

マイクに向かって話す音が小さい、音が歪む場合に調整できるようになっています。
設定値が大きいほど感度が高くなり、通話相手から聞こえる受信音声が大きくなります。

3-9　LED 輝度調整
設定値　OFF/Low/Middle/High（初期値　High）

ランプの輝度（明るさ）を変更したい場合に調整できるようになっています。

・OFFにした場合、ランプが点灯しません。受信待ち受け・受信・送信・減電池お知らせ・断線検知時の確認ができなくなりますので、ご注意ください。
・OFFにした際にランプが点灯しないことで、電源を切り忘れる恐れがあります。電源を切り忘れて充電すると、充電が正常にできない原因にもなりますのでご注意ください。

3-10　エンドピピ
設定値　オフ/オン（初期値　オフ）

受信終了時に、受信の強度(レベル)に合わせてエンドピーを鳴らす機能です。
強いレベルの信号を受信したときは「ピッ」、少し弱いレベルの信号を受信したときは「ピピッ」、非常に弱いレベルの信号を受信したときは「ピピピッ」と鳴ります。

・エンドピピはテールノイズキャンセラーを搭載した弊社製品または、グループ（トーン）を設定した無線機から送信された音声を受信した後、受信が終了するときに鳴ります。本機能をオン/オフする際は受信側機器を設定してください。
・本機能をオンにした場合は、DIP スイッチ 7 番のエンドピーを設定することはできません。
・連結中継モードでは、エンドピピは使用できません。

3-11 連結中継モード スキャンガイダンス設定　　　　　　　　下記、赤文字の注意書きをご参照ください。
設定値 オフ/オン(初期値 オン)

連結中継モードで、チャンネル設定が自動で切り替わった際にガイダンスでお知らせする機能です。
スキャンをオン(自動)で連結中継モードを使用しているとき、本製品は中継器からのビーコン(信号)を受けて自動でチャンネル設定を行います。チャンネルが切り替わった際は音声ガイダンスでお知らせします。
本製品と中継器の場所によっては、チャンネルが頻繁に切り替わる可能性があります。
チャンネルが頻繁に切り替わってしまい、ガイダンスが邪魔になる際はオフに設定してください。

4. 設定方法

設定項目	初期値	コマンド
1:イヤホン断線検知	オン	▽ ⇒ ▽ ⇒ ▽
2:AGC 設定	オン	電源 ⇒ 電源 ⇒ ▽
3:トーンマージン設定	オフ	△ ⇒ △ ⇒ △
4:PTT オン/オフ設定	オン	電源 ⇒ 電源 ⇒ △
5:送信出力	High	△ ⇒ 電源 ⇒ 電源
6:中継設定	A	△ ⇒ △ ⇒ 電源
7:中継接続手順	オン	△ ⇒ 電源 ⇒ △
8:マイク音量	4	電源 ⇒ 電源 ⇒ 電源
9:LED 輝度調整	High	△ ⇒ △ ⇒ ▽
10:エンドピピ	オフ	▽ ⇒ 電源 ⇒ 電源
11:連結中継モード スキャンガイダンス設定	オン	電源 ⇒ △ ⇒ △

4-1 オン/オフ切り替え(設定項目:1〜7、10〜11)
① 本製品の電源を切った状態でランプが青色点灯するまで電源キーとPTT キーを同時に長押しします。
② キーを放し「プププ」音が鳴ったあと 10 秒以内に、変更する設定項目のコマンドを押すと項目番号と設定値が鳴り、切り替えます。
例:イヤホン断線検知のコマンド入力 「1 番 オフ」
③ 自動的に通常モードに戻り、設定変更された状態で使用できます。

 ・初期値から変更されたあとの起動は、設定変更のお知らせとしてランプが約 3 秒間紫色点灯し、その後青色点灯します。
・続けて複数の設定項目の変更ができませんのでご注意ください。

4-2 範囲切り替え(設定項目:8〜9)
① 本製品の電源を切った状態でランプが青色点灯するまで電源キーとPTT キーを同時に長押しします。
② キーを放し「プププ」音が鳴ったあと 10 秒以内に、変更する設定項目のコマンドを押すと設定項目名や設定値が鳴ります。(ランプ:黄色点滅)
③ ▽/△キー操作で設定値を変更し、PTT キーを押すと青色点灯し通常モードになります。

注意 ・初期値から変更されたあとの起動は、設定変更のお知らせとしてランプが約 3 秒間紫色点灯し、その後青色点灯します。
・続けて複数の設定項目の変更ができませんのでご注意ください。

連結中継モード　スキャンガイダンス設定の追加について
製品発売後、途中から追加された機能です。無線連結中継を使わないときは不要な設定項目です。既存の連結中継ユーザーで、追加を希望されるときは運賃のみ実費負担で承ります。弊社サービスセンターにご相談ください。
連結中継機をお使いのユーザー様限定のサービスです。

DJ-PX7 連結中継マニュアル

アルインコ株式会社
電子事業部

はじめに…

この度はアルインコ特定小電力ハンディトランシーバー DJ-PX7 をお買い上げいただきまことにありがとうございます。
連結中継マニュアルは本製品をより使いやすくするために付属の取扱説明書にある連結中継の内容を補完します。
ご使用前に付属の取扱説明書と合わせて、必ずお読みください。

本資料の使用に関して……

本資料の内容は予告なく変更することがあります。

当社は本資料に記載されている情報等の使用に関して、当社もしくは第三者が所有する知的財産権その他の権利に対する保証、実施、使用を許諾するものではありません。
本資料に記載されている情報等の使用に起因する損害、第三者所有の権利に対する侵害に関し、当社は一切その責任は負いません。

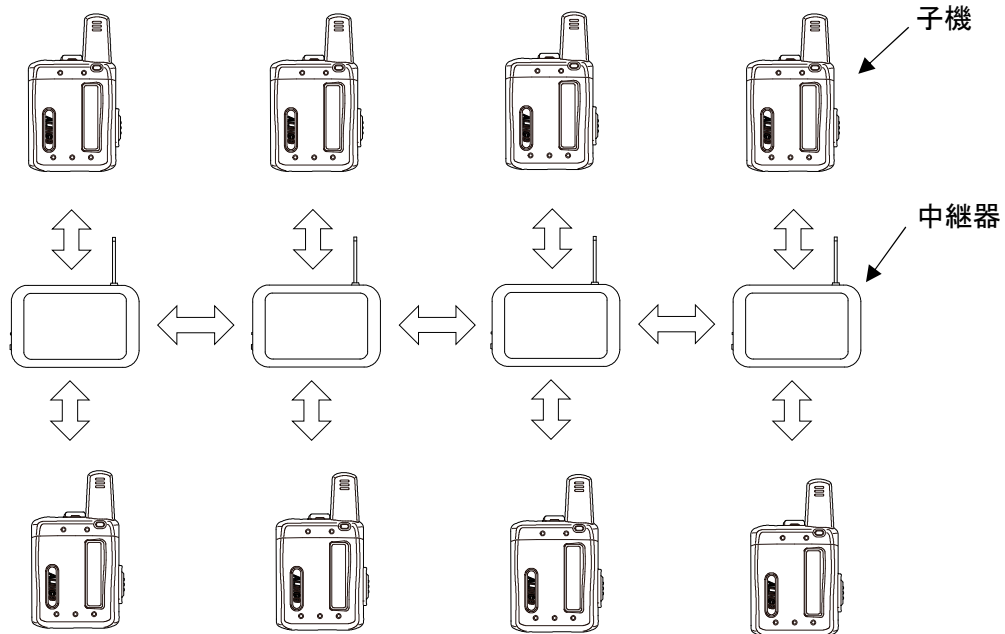
商標等について………

<u>重要なご注意</u>…………

付属の取扱説明書にあるチャンネルやグループ番号などを自分で設定していない方は、このセットモード設定も変更しないでください。本製品は設定を表示する液晶がないので、設定状態が分かりにくくなっています。誤って設定の変更やリセットした場合に「もとに戻したい」と相談されても、もとの設定が分からないためサポートができません。
管理者が居なくなった、誰が設定したか分からない、というときはすべての無線機をリセットして、新たに同じ設定に合わせこむのが一番早くて確実な方法です。

目次

1. 連結中継

本製品は中継器を複数台使って通話エリアを拡大する連結中継の子機として使用できます。中継器は連結中継モード対応の製品(DJ-U3R など)をお使いください。また本製品をリモコンとして使用し、連結中継器に対して設定をおこないます。最大 4 台の中継器を無線連結させて通話距離を大きく伸ばすことができます。
子機は自動で最寄りの中継器にアクセスするため、チャンネルを変更する必要がありません。
リモコンによる設定方法は後述の「2. 連結中継モード」をご覧ください。

2. 連結中継モード

① 本製品(以下、子機)の電源を切った状態でランプが青色点灯するまで電源キーと PTT キーを同時に長押しします。
② キーを放し「プププ」音が鳴ったあと 10 秒以内に、
「▽ → △ → 電源 → 電源 → 電源」の順番で押すと
「連結中継モード チャンネル **」が鳴り連結中継モードに入ります。(ランプ:水色点灯)

> メモ ・電源キーを押すとチャンネルグループや中継器番号が鳴ります。
> ・通常の通話モードに戻す場合は、リセット(初期化)し工場出荷状態に戻してください。
> リセットするには、電源を切った状態で電源+△+PTT キーを 5 秒間押し続けます。途中でランプが青色点灯しますが、そのまま押し続けると黄色と紫色の交互点滅に変わり「初期化しました」が鳴り、リセットされます。
> ・連結中継モードでは通常の通話モードとは設定スイッチの割り当てが異なるので、「9. 設定スイッチ表」を参照ください。

> 注意 ・送信中の各キー・スイッチ操作による設定情報の確認や変更はできませんのでご注意ください。
> ・子機は最適な中継器を探して常にスキャンするので、バッテリーセーブは動作しません。
> ・連結中継は、一般的な中継対応トランシーバーでは設定も通話もできません。
> ・設置に関する説明は中継器の取扱説明書を参照ください。正しく設置されないと誤動作します。
> ・設定変更のお知らせとして起動時にランプが紫色点灯することはありません。
> ・ACSH(アクシュ)モードにて、連結中継モードを設定することはできません。

2-1 音量

連結中継モード中に▽/△キー操作で音量を 30 段階変更できます。

> 注意 1 番スイッチ ON の場合は、チャンネルグループが優先されるので音量変更ができません。

2-2 チャンネルグループ
連結中継モード中に設定スイッチの 1 番スイッチを ON にすると▽/△キー操作でチャンネルグループを変更できます。
中継器が既に設置されていて、連結中継を使われている現場に本製品を追加導入する際は設定スイッチの 1 番スイッチを ON にし、現場で使用されているチャンネルグループ(A～H)に▽/△キー操作で設定すると簡単に設定ができます。
中継器のアクセス速度がオン(高速)に設定されている場合は、設定モードに入り設定する必要があります。3. 設定モードをご参照ください。

注意 1 番スイッチ ON の場合は、音量変更ができませんのでご注意ください。

3. 設定モード
連結中継モード中に△/▽キーを同時に押すとランプが黄色点滅し設定モードに入ります。

電源キーを押すと各設定項目名と設定値が鳴ります。また下記以降 1･2･4･5･7 番スイッチの操作でも同様に鳴り設定変更できます。

注意 ･「4. 設定項目」以降の設定スイッチでは 10 番スイッチ（主電源）を ON に、9 番スイッチ（マイク選択）を ON（マイク 2)にした状態で説明しています。

･「4. 設定項目」以降の設定スイッチで 1･2･4･5･7 番が複数 ON している場合は、誤動作を防ぐため自動的に「4-1　中継器番号」の設定項目になります。

･設定モードでは 1･2･4･5･7 番のスイッチを使用します。それ以外は設定変更できませんのでご注意ください。設定完了後は 2･4･5･7 番スイッチ以外を使用してセットモードの設定を変更できます。

4. 設定項目

本製品の連結中継モード中の設定を変更したり、中継器に設定内容を送信したりする場合は、設定モードで設定値を変更します。

中継器に設定内容を送信する場合は、この設定モードで設定値を変更しリモコンとして準備します。
リモコンとして準備する場合は、始めにスキャンをオフ（手動）に設定します。

〇リモコンとして使用する際のスキャン オフ（手動）の設定方法

① △/▽キーを同時に押して、設定モードに移ります。
② 4 番スイッチを ON、1･2･5･7 番スイッチを OFF にします。
③ ▽キーを押して、スキャンをオフ(手動)に設定します。
④ スキャンをオフ(手動)に設定後、中継器番号等の設定を行ってください。

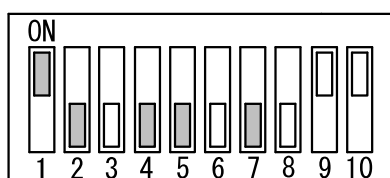
連結中継器が既に設置されていて本製品をリモコンとして準備する必要はなく、本製品にチャンネルグループ、アクセス速度やアクセス音を設定する際にはスキャンをオフ（手動）に設定する必要はありません。
初期状態のスキャンをオン（自動）のまま設定を行ってください。

4-1　中継器番号
設定値:1～4（初期値:1）

① △/▽キーを同時に押して、設定モードに移ります。
② 1･2･4･5･7 番スイッチを OFF にします。
③ ▽/△キー操作で中継器番号を合わせ、△/▽キーを同時に押すと水色点灯し設定が完了します。

注意 スキャン オン(自動)中は中継器番号を設定変更できませんので、ご注意ください。

4-2　チャンネルグループ
設定値:A～H（初期値:A）

① △/▽キーを同時に押して、設定モードに移ります。
② 1 番スイッチを ON、2･4･5･7 番スイッチを OFF にします。
③ ▽/△キー操作でチャンネルグループを合わせ、△/▽キーを同時に押すと水色点灯し設定が完了します。

メモ スキャン設定値（オン/オフ）に関わらず設定変更できます。
1 番スイッチを ON にすると設定モードに入らなくても▽/△キー操作でチャンネルグループを変更できます。

注意 ･1 番スイッチを ON にしていると、▽/△キー操作での音量変更ができませんのでご注意ください。
音量変更したい場合は 1 番スイッチを OFF にしてください。

4-3　スキャン

設定値:オフ（手動） / オン（自動） （初期値:オン）

① △/▽キーを同時に押して、設定モードに移ります。
② 4 番スイッチを ON、1･2･5･7 番スイッチを OFF にします。
③ ▽/△キー操作でスキャンをオンまたはオフに合わせ、△/▽キーを同時に押すと水色点灯し設定が完了します。
この機能をオンにすると、連結中継中に自動で中継器を切り替えたとき、中継器番号を音声ガイドします。

メモ 中継器設定する場合は、スキャン オフ（手動）にしてください。

注意 スキャン オフ（手動）中は、中継器からのビーコン（信号）による自動チャンネル設定をしません。

4-4 アクセス速度
設定値:オフ(通常) / オン(高速) (初期値:オフ)

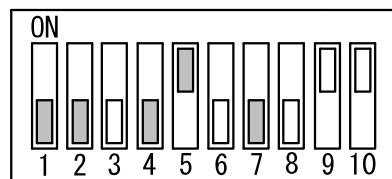
連結中継の通話開始(応答)のときのアクセス速度を設定する機能です。
「オフ(通常)」は通信精度を優先するため連結中継アクセスに時間がかかり、通話開始(応答)のときに長めの頭切れが発生します。「オン(高速)」に切り替えることで通信速度を優先するようになり、この頭切れを緩和することができます。ただし、通信速度を優先することで別の電波類やノイズなどからの干渉を受けやすくなり、混信の多い環境では最寄りの中継器を誤認識することがあります。使用環境の状況に合わせて、確認してからお使いください。

① △/▽キーを同時に押して、設定モードに移ります。
② 2 番スイッチを ON、1･4･5･7 番スイッチを OFF にします。
③ ▽/△キー操作でアクセス速度をオンまたはオフに合わせ、△/▽キーを同時に押すと水色点灯し設定が完了します。

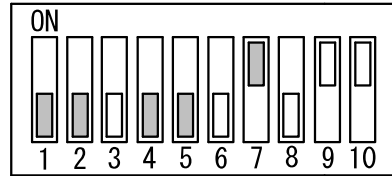
メモ 中継器からの信号を受信したとき、アクセス速度オフの場合はランプが黄色点滅します。
またアクセス速度オンの場合はランプが紫色点滅します。

4-5 アクセス音
設定値:OFF/アクセス音/エンドピー/ALL(初期値:ALL)

連結中継の通話開始(応答)のときのアクセス音「ピピ」と、通話終了時になるエンドピー音の動作を切り替える機能です。

① △/▽キーを同時に押して、設定モードに移ります。
② 5 番スイッチを ON、1･2･4･7 番スイッチを OFF にします。
③ ▽/△キー操作でアクセス音を合わせ、△/▽キーを同時に押すと水色点灯し設定が完了します。

注意 アクセス音を止めた場合、応答から中継通話を始められるまでのタイミングが分かりづらくなります。
通話開始のときは長めの時間をおいてから話してください。

4-6 ビーコン間隔時間
設定値 OFF/5 秒/10 秒/20 秒/30 秒/40 秒/50 秒/60 秒(初期値:10 秒)

① △/▽キーを同時に押して、設定モードに移ります。
② 7 番スイッチを ON、1･2･4･5 番スイッチを OFF にします。
③ ▽/△キー操作でビーコン間隔時間を合わせ、△/▽キーを同時に押すと水色点灯し設定が完了します。

中継器は子機に最寄りの中継器判定のため、一定時間毎に中継器から約 1 秒間ビーコン(信号)を送信します。受信待ち受け時に子機は最寄りの中継器からの信号を受信して、中継器へアクセスが出来るように自動的にチャンネルを設定します。

メモ 中継器からの信号を受信したときは、ランプが黄色点滅します。
自動的にチャンネル設定した場合は、チャンネルグループと中継器番号が鳴ります。

5. 設定値送信
△/▽キーを同時に押して設定モードに入り、スキャン オフ(手動)中にPTTキーを約3秒間長押しで「設定内容を無線通信します」が鳴り、ランプが赤色点滅し設定値を送信します。

注意 スキャン オン(自動)中は、設定値送信ができませんので、ご注意ください。

6. 中継器設定
連結中継では、あらかじめ用意された A～H の 8 つのチャンネルグループを 1 つ選択して、すべての子機と中継器を同じチャンネルグループに合わせます。1 台の子機(以下、リモコン機)を使って中継器を設定します。

注意 通常初期状態が最適な設定となっており、中継器番号とチャンネルグループ以外の設定変更する必要はありません。「3. 設定モード」で設定変更する場合は機能の意味を正しく理解して、通話確認をしてから設置・運用してください。

① 通常初期状態の機能設定を変更する必要はありません。
中継器の AC アダプターはコンセントの近くに置いて、すぐコンセントにさせるように準備します。

注意 この時点で中継器の AC アダプターはコンセントに接続しないでください。

② リモコン機をスキャン オフ(手動)にします。

③ リモコン機のチャンネルグループを設定します。

メモ チャンネルグループ A は初期状態の設定のため多用されます。それ以外を設定する方が混信を受けにくくなります。

④ リモコン機の中継器番号を 1 台目の中継器に割り当てる番号「1」に設定します。

メモ 2 台目以降、リモコン機の中継器番号を「2」～「4」に切り替えて同じ操作をします。この番号は設置のときも重要になるので、目印を付けるなどして間違えないよう気をつけてください。

⑤ リモコン機の PTT キーを約 3 秒間長押しして設定値を送信します。(5. 設定値送信)

⑥ 送信が始まったら中継器に AC アダプターをコンセントに挿して電源をいれます。
リモコン機からの設定用信号を受信し始めます。

⑦ 設定内容の転送が終わると、リモコン機のランプが緑色に点灯し「プルル」音が鳴ります。
1 台目の中継器に設定が反映され、設定が終わります。

⑧ 連結する台数分の中継器を同じ手順で設定します。④の手順を使用台数に合わせて設定を繰り返します。

⑨ すべての中継器の設定が完了したら、リモコン機のスキャンをオン(自動)に戻します。

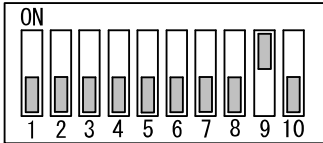
7. 連結中継モードの通話・中継器スキャン

① 子機の PTT キーを押し続けるとランプが赤色点灯し、送信が始まります。

② 中継器へアクセスまでの間、「ピピピ」音が鳴ります。PTT キーを押し続けたまま、
アクセス音が鳴り終わってからマイクに向かって話します。

③ 受信側の子機はランプが緑色点灯し、送信側からの音声がイヤホンから聞こえます。
送信を終えるには PTT キーを放します。

8. 通話確認

通話確認では 10m 以上離して 2 台の中継器を仮置きします。子機すべてを使い、2 台の中継器の周りを移動して中継通話ができるのを確認します。距離が近いと電波が干渉し合い、ノイズが乗ったり繋がりにくかったりしますが、声が聞こえていれば正しく設定されていると判断できます。
通話確認が終わったら中継器の AC アダプターをコンセントから抜きます。
中継器の説明書を参照して、運用場所に正しく設置します。

・通話確認で使用する 2 台の中継器は中継器番号が 1 番と 2 番のものを使用してください。1 番と 2 番以外の組み合わせでは通話できません。
・再び AC アダプターをコンセントに接続すると、20 秒後に前回設定した状態の中継器モードで起動します。起動中の 20 秒間はセットモードになっているので、中継器の近くで子機を含む無線機類を一切送信しないでください。設定が誤って変更される恐れがあります。

9. 設定スイッチ表

連結中継モードになると設定スイッチ割り当てが以下となります。
2・4・5・7 番スイッチは、連結中継モード中は設定モード以外では使用できません。

項目		初期値	設定スイッチ
1-0	中継器番号	1	ON 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10
1-1	チャンネルグループ	A	
2	アクセス速度	オフ(通常)	
3	PTTホールド(送信保持)	オフ	
4	スキャン	オン(自動)	
5	アクセス音	ALL	
6	コンパンダー(雑音低減)	オフ	
7	ビーコン間隔時間	10秒	
8	コールバック(音声モニター)	オフ	
9	マイク選択	マイク2	
10	主電源	オフ	

参考：
・無線連結中継（スキャン　オン設定）動作中は自動で最適な中継器に切り替えたことを中継器の番号で音声ガイドします。中継器が変わったことを教えてくれる便利な機能ですが、ひんぱんに移動され、切り替わりが多いときはこのガイダンスが耳障りに感じられることがあります。別紙の「DJ-PX7　拡張セットモードマニュアル」の「3-11　連結中継モードスキャンガイダンス設定」で、このガイドを本機側でオフにできます。中継器側では切ることができません。
・このガイダンス設定は発売開始後に追加されたものです。もし未対応機の更新をご希望でしたら無償で対応いたしますので弊社サービスセンターにご相談ください。但し往復の運賃はご負担いただきます。連結中継機をご利用のユーザー様限定のサービスです。

DJ-PX7 受信音ミュートマニュアル

アルインコ株式会社
電子事業部

はじめに…

この度はアルインコ特定小電力ハンディトランシーバー DJ-PX7 をお買い上げいただきまことにありがとうございます。
受信音ミュートマニュアルは本製品をより使いやすくするために付属の取扱説明書にある受信音ミュートの内容を補完します。
ご使用前に付属の取扱説明書と合わせて、必ずお読みください。

本資料の使用に関して……

本資料の内容は予告なく変更することがあります。
本資料の転載・複製に関しましては、当社の許諾が必要です。
当社は本資料に記載されている情報等の使用に関して、当社もしくは第三者が所有する知的財産権その他の権利に対する保証、実施、使用を許諾するものではありません。
本資料に記載されている情報等の使用に起因する損害、第三者所有の権利に対する侵害に関し、当社は一切その責任は負いません。

商標等について………

アルインコの社名とロゴは国内外で商標として登録されています。
その他、記載の商品名、会社名は、それぞれの会社の登録商標または商標です。

重要なご注意…………

付属の取扱説明書にあるチャンネルやグループ番号などを自分で設定していない方は、このセットモード設定も変更しないでください。本製品は設定を表示する液晶がないので、設定状態が分かりにくくなっています。誤って設定の変更やリセットした場合に「もとに戻したい」と相談されても、もとの設定が分からないためサポートができません。
管理者が居なくなった、誰が設定したか分からない、というときはすべての無線機をリセットして、新たに同じ設定に合わせこむのが一番早くて確実な方法です。

目次

1. 受信音ミュート
設定値：OFF/ハンド/タッチ/ボイス（初期値：OFF）

イヤホンを使用中の受信時に、一時的にイヤホンから聞こえる受信音量を下げる機能です。接客業などで接客中に受信音量を下げたい(ミュート)ときに活用できます。

注意 ・**タッチとボイスはバッテリーセーブ機能が働かないため、使用時間が大幅に短くなりますが異常ではありません。限定的な用途にニーズがあるため敢えて採用しています。一般用途にはハンドをお使いください。**
・受信音ミュート設定（ハンド・タッチ・ボイス）中に関して、起動からの音声ガイダンスでのお知らせ後、約１秒間はミュート動作しないのでご注意ください。

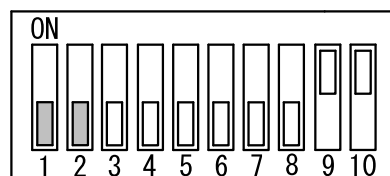
2. 設定モード
① 本製品の電源を切った状態でランプが青色点灯するまで電源キーと PTT キーを同時に長押しします。
② キーを放し「プププ」音が鳴ったあと 10 秒以内に、「▽ → ▽ → △」の順番で押すと各設定項目が鳴り設定モードに入ります。（ランプ：黄色点滅）

メモ 電源キーを押すと各設定項目名と設定値が鳴ります。下記以降 1～2 番スイッチの操作でも同様に鳴り設定変更できます。

注意 ・「3. 設定項目」以降の設定スイッチでは 10 番スイッチ（主電源）を ON に、9 番スイッチ（マイク選択）を ON（マイク 2）にした状態で説明しています。

・「3. 設定項目」以降の設定完了後の再起動は、設定変更のお知らせとしてランプが約 3 秒間紫色点灯し、その後青色点灯します。

・設定モードでは 1～2 番のスイッチを使用します。それ以外は設定変更できませんのでご注意ください。設定完了後はすべてのスイッチを使用して設定変更できます。

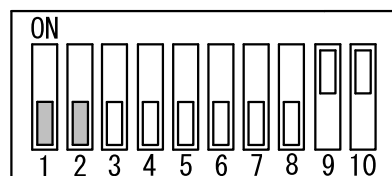
3. 設定項目
3-1 ハンド設定
① 設定モードに移ります。
② 1～2 番スイッチを OFF にします。
③ ▽/△キー操作で「ハンド」に合わせ、PTT キーを押すと青色点灯し設定が完了します。
④ PTTキーを押すと「ピピ」音が鳴り受信音量が下がります。
⑤ 再度 PTT キーを押すと「ププ」音が鳴りもとの音量に戻ります。

注意 ・ハンドでは送信開始までに遅延が起こるため、音声の始めが途切れる場合があります。
・受信音量を下げたあとに一定時間無操作が続くと自動的にもとの音量に戻ります。
・VOX、PTT ホールド機能設定時は受信音ミュートが使用できません。
・ミュート状態でのキー操作はミュートが解除されます。

3-2　タッチ設定

① 設定モードに移ります。
② 1～2 番スイッチを OFF にします。
③ ▽/△キー操作で「タッチ」に合わせ、PTT キーを押すと青色点灯し設定が完了します。
④ 選択しているマイク付近を軽くタッチすると「ピピ」音が鳴り受信音量が下がります。
⑤ 再度軽くタッチすると「ププ」音が鳴りもとの音量に戻ります。

注意 **・タッチはバッテリーセーブ機能が働かないため、使用時間が大幅に短くなりますが異常ではありません。限定的な用途にニーズがあるため敢えて採用しています。**
一般用途にはハンドをお使いください。
・タッチする場合は本製品に強い衝撃を与えたり、高所から落下させたりしないでください。ケースの破損や故障の原因となります。
・受信音量を下げたあとに一定時間無操作が続くと自動的にもとの音量に戻ります。
・VOX、PTT ホールド機能設定時は受信音ミュートが使用できません。
・ミュート状態でのキー操作はミュートが解除されます。

3-3　ボイス設定

① 設定モードに移ります。
② 1～2 番スイッチを OFF にします。
③ ▽/△キー操作で「ボイス」に合わせ、PTT キーを押すと青色点灯し設定が完了します。
④ 選択しているマイクに話すと「ピピ」音が鳴り受信音量が下がります。話している間は保持します。
⑤ 話し終わると一定時間後に「ププ」音が鳴りもとの音量に戻ります。

注意 **・ボイスはバッテリーセーブ機能が働かないため、使用時間が大幅に短くなりますが異常ではありません。限定的な用途にニーズがあるため敢えて採用しています。**
一般用途にはハンドをお使いください。
・話している音声以外で誤動作してしまう騒音の大きい場所では、使用できません。
・受信音量を下げた後に一定時間話している音声がなくなると自動的にもとの音量に戻ります。
・VOX、PTT ホールド機能設定時は受信音ミュートが使用できません。
・ミュート状態でのキー操作はミュートが解除されます。

メモ 1～2 番スイッチ両方 ON の場合、同様に「受信音ミュート」の設定値が変更できます。

3-4 受信音ミュートレベル
設定値:1～7(初期値:4)

受信音ミュートのタッチ、ボイスのマイク感度レベルを変更できます。
本製品の装着位置でマイクから入る音量が異なります。このためミュートが利きにくい場合や
ミュートが利きやすい場合に調整できます。
ミュートが利きにくい場合は設定値を大きく、ミュートが利きやすい場合は設定値を小さくして、
確認してからお使いください。

① 設定モードに移ります。
② 1番スイッチをON、それ以外をOFFにします。
③ ▽/△キー操作で設定値を合わせ、PTTキーを押すと青色点灯し設定が完了します。

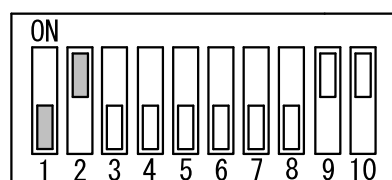
注意 設定値を大きくしすぎると、誤動作するおそれがあるためご注意ください。

3-5 受信音ミュートディレイタイム
設定値:ハンド・タッチ:5 / 10 / 15 / 30 / 60（初期値:15秒）
ボイス :1 / 2 / 3 / 4 / 5 （初期値:3秒）

受信音ミュートのミュート保持時間を変更できます。

ハンドとタッチではミュート解除忘れを防ぐための一定時間設定です。
設定時間になると自動的にミュートが解除されます。
ミュート保持時間を延ばしたい場合は、設定時間を長くしてください。

ボイスでは息継ぎしてもミュート解除しないための時間設定です。
ミュートの切り替えを素早くしたい場合に設定を短めにすると使い勝手が向上しますが、
息継ぎですぐミュートが解除されることもあります。確認してからお使いください。

① 設定モードに移ります。
② 2番スイッチをON、それ以外をOFFにします。
③ ▽/△キー操作で設定値を合わせ、PTTキーを押すと青色点灯し設定が完了します。

DJ-PX7 エアクローンマニュアル

アルインコ株式会社
電子事業部

はじめに…

この度はアルインコ特定小電力ハンディトランシーバー DJ-PX7 をお買い上げいただきまことに
ありがとうございます。
エアクローンマニュアルは本製品をより使いやすくするために付属の取扱説明書にあるエアクローンの
内容を補完します。
ご使用前に付属の取扱説明書と合わせて、必ずお読みください。

本資料の使用に関して……

商標等について………

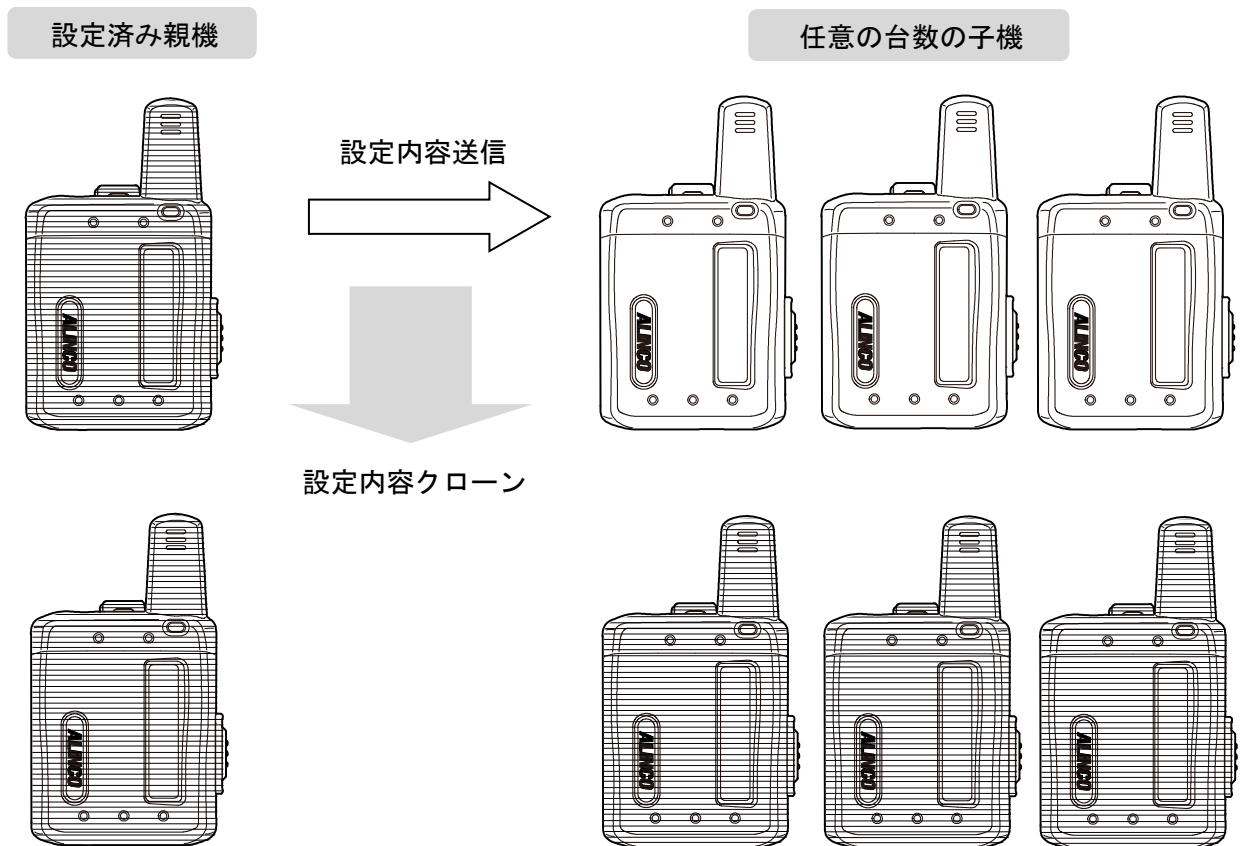
<u>重要なご注意</u>…………

付属の取扱説明書にあるチャンネルやグループ番号などを自分で設定していない方は、このセットモード設定も変更しないでください。本製品は設定を表示する液晶がないので、設定状態が分かりにくくなっています。誤って設定の変更やリセットした場合に「もとに戻したい」と相談されても、もとの設定が分からないためサポートができません。
管理者が居なくなった、誰が設定したか分からない、というときはすべての無線機をリセットして、新たに同じ設定に合わせこむのが一番早くて確実な方法です。

目次

スイッチで手動設定した個体も、スイッチはそのままでクローン書き込みできます。（エアクローン設定がスイッチより優先されます）

1. エアクローン

設定済みのDJ-PX7(以下、親機)から他のDJ-PX7(以下、子機)に、無線で親機のチャンネル・グループ番号や各種設定内容を送り同じ設定(クローン)にすることができます。

[子機]

① 本製品の電源を切った状態でランプが青色点灯するまで電源キーとPTTキーを同時に長押しします。
② キーを放し「プププ」音が鳴ったあと10秒以内に「▽ → △ → 電源 → △ → ▽」の順番で押します。
③ ランプが青色と赤色の交互点滅に切り替わり、「エアクローンモードです～」が鳴ります。
④ 親機からの設定情報を受信したらランプが青色点滅に切り替わります。
⑤ 自動設定が完了したらランプが緑色点滅しチャンネルとグループの番号をお知らせしたあと自動的に電源が切れます。
⑥ 正常にクローンされた場合は電源を入れた後、起動音とともに「クローン設定」に続き親機と同じチャンネルとグループが鳴ります。

[親機]

① 取扱説明書に従って設定を済ませます。
② 本製品の電源を切った状態でランプが青色点灯するまで電源キーとPTTキーを同時に長押しします。
③ キーを放し「プププ」音が鳴ったあと10秒以内に「▽ → △ → 電源 → △ → ▽」の順番で押します。
④ ランプが青色と赤色の交互点滅に切り替わり、「エアクローンモードです～」が鳴ります。
⑤ PTTキーを長押しすると「設定内容を無線通信します」が鳴り設定情報を送信します。(ランプ:赤色点滅)
⑥ 子機の自動設定が完了したら親機の電源を切ります。

注意 ・満充電でお試しください。設定中に電源が切れた場合、正しく設定されないことがあります。

・エアクローンは外来電波による誤判定を防ぐため近距離でご使用ください。
自動設定中は電源を切らないでください。正しく設定されないことがあります。

・子機が設定情報を受信し自動設定が完了する時間は最大で20秒程度を要することがあります。

注意 ・自動設定が完了すると、クローンロックがかかり各種キー・スイッチ操作での設定変更がすべてできなくなります。設定する場合はリセット（初期化）してください。
リセットするには、電源を切った状態で電源+△+PTT キーを 5 秒間押し続けます。途中でランプが青色点灯しますが、そのまま押し続けると黄色と紫色の交互点滅に変わり「初期化しました」が鳴り、リセットされます。
リセットした場合エアクローンで自動設定した内容は消去されますのでご注意ください。

・親機からリモコンロック無効の設定値がクローンされた場合、中継リモコン設定モードに入れませんのでご注意ください。

・親機からリモコンロック有効の設定値がクローンされた場合、中継リモコン設定モードに入れますが、設定値の変更ができないのでご注意ください。また設定値の送信のみ使用できます。

DJ-PX7 中継器リモコンマニュアル

アルインコ株式会社
電子事業部

はじめに…

この度はアルインコ特定小電力ハンディトランシーバー DJ-PX7 をお買い上げいただきまことに
ありがとうございます。
中継器リモコンマニュアルは本製品をより使いやすくするために付属の取扱説明書にある中継器リモコン
の内容を補完します。
ご使用前に付属の取扱説明書と合わせて、必ずお読みください。

本資料の使用に関して……

本資料の内容は予告なく変更することがあります。
本資料の転載・複製に関しましては、当社の許諾が必要です。
当社は本資料に記載されている情報等の使用に関して、当社もしくは第三者が所有する知的財産権
その他の権利に対する保証、実施、使用を許諾するものではありません。
本資料に記載されている情報等の使用に起因する損害、第三者所有の権利に対する侵害に関し、
当社は一切その責任は負いません。

商標等について………

アルインコの社名とロゴは国内外で商標として登録されています。
その他、記載の商品名、会社名は、それぞれの会社の登録商標または商標です。

<u>重要なご注意</u>…………

付属の取扱説明書にあるチャンネルやグループ番号などを自分で設定していない方は、このセットモード設定も変更しないでください。本製品は設定を表示する液晶がないので、設定状態が分かりにくくなっています。誤って設定の変更やリセットした場合に「もとに戻したい」と相談されても、もとの設定が分からないためサポートができません。
管理者が居なくなった、誰が設定したか分からない、というときはすべての無線機をリセットして、新たに同じ設定に合わせこむのが一番早くて確実な方法です。

目次

1. 中継器リモコン

DJ-PX7 は連結中継器モード対応の中継器(DJ-U3R など)に対して、半複信中継器モードの設定をするためのリモコンとして使用できます。ここでは中継器への設定方法と設定項目について説明します。

注意 本製品は連結中継モードに対応していない中継器(DJ-P101R、DJ-P111R、DJ-P112R、DJ-R200D)を遠隔操作するリモコンとしては使用できませんのでご注意ください。

2. 設定モード

① 本製品の電源を切った状態でランプが青色点灯するまで電源キーと PTT キーを同時に長押しします。
② キーを放し「プププ」音が鳴ったあと 10 秒以内に、「▽ → ▽ → 電源」の順番で押すと各設定項目が鳴り設定モードに入ります。(ランプ:黄色点滅)

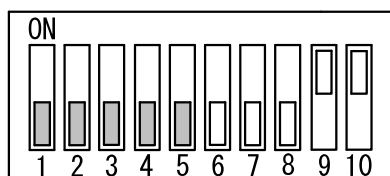
メモ 電源キーを押すと各設定項目名と設定値が鳴ります。下記以降 1〜5 番スイッチの操作でも同様に鳴り設定変更できます。

注意
- 「3. 設定項目」以降の設定スイッチでは 10 番スイッチ(主電源)を ON に、9 番スイッチ(マイク選択)を ON(マイク 2)にした状態で説明しています。
- 「3. 設定項目」以降の設定スイッチで 1〜5 番が複数 ON にしている場合は、誤動作を防ぐため自動的に「3-1 チャンネル」の設定項目になります。
- 「3. 設定項目」以降の設定完了後の再起動は、設定変更のお知らせとしてランプが約 3 秒間紫色点灯し、その後青色点灯します。
- 設定モードでは 1〜5 番のスイッチを使用します。それ以外は設定変更できませんのでご注意ください。設定完了後は 1〜2 番スイッチ以外を使用してセットモードの設定を変更できます。

3. 設定項目

3-1 チャンネル

設定値:L10〜L18、b12〜b29(初期値:L10)

① 電源を切った状態でランプが青色点灯するまで電源キーと PTT キーを同時に長押しします。
   キーを放し「プププ」音が鳴ったあと、10 秒以内に「▽ → ▽ → 電源」の順番で押し、設定モードに移ります。
② 1〜5 番スイッチを OFF にします。
③ ▽/△キー操作でチャンネルを合わせます。

3-2 グループ番号

設定値:オフ、01〜50(初期値:オフ)

中継器にグループトーク機能を設定できます。

① 電源を切った状態でランプが青色点灯するまで電源キーと PTT キーを同時に長押しします。
   キーを放し「プププ」音が鳴ったあと、10 秒以内に「▽ → ▽ → 電源」の順番で押し、設定モードに移ります。
② 1 番スイッチを ON、2〜5 番スイッチを OFF にします。
③ ▽/△キー操作でグループ番号を合わせます。

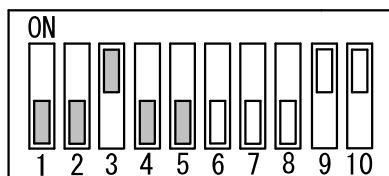
3-3　中継設定
設定値:A/ B （初期値:A）

本製品と中継器の送受信周波数帯を変更することができます。本製品が A なら、中継器には B が設定されます。通常は初期値の A でご使用ください。

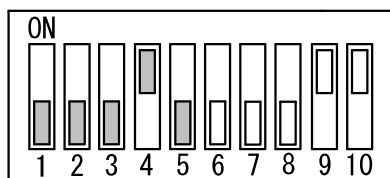
① 電源を切った状態でランプが青色点灯するまで電源キーと PTT キーを同時に長押しします。
キーを放し「プププ」音が鳴ったあと、10 秒以内に「▽ → ▽ → 電源」の順番で押し、設定モードに移ります。
② 2 番スイッチを ON、1 番スイッチと 3～5 番スイッチを OFF にします。
③ ▽/△キー操作で中継設定を A または B に合わせます。

3-4　中継接続手順
設定値:オン/オフ（初期値:オン）

中継動作の自動接続手順を解除し、接続タイミングを最適化する設定です。
本機能をオフにする場合は、中継器と本製品の設定を両方オフにしてください。

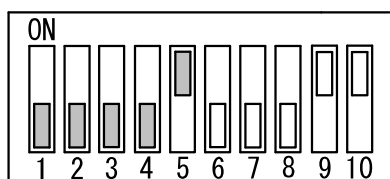
① 電源を切った状態でランプが青色点灯するまで電源キーと PTT キーを同時に長押しします。
キーを放し「プププ」音が鳴ったあと、10 秒以内に「▽ → ▽ → 電源」の順番で押し、設定モードに移ります。
② 3 番スイッチを ON、1～2 番スイッチと 4～5 番スイッチを OFF にします。
③ ▽/△キー操作で中継接続手順をオンまたはオフに合わせます。

3-5　中継ハングアップ
設定値:オフ/0.5 秒/1 秒/2 秒（初期値:オフ）

中継通話終了後に中継動作を継続する時間を設定できます。設定した秒数だけ中継動作を継続します。

① 電源を切った状態でランプが青色点灯するまで電源キーと PTT キーを同時に長押しします。
キーを放し「プププ」音が鳴ったあと、10 秒以内に「▽ → ▽ → 電源」の順番で押し、設定モードに移ります。
② 4 番スイッチを ON、1～3 番スイッチと 5 番スイッチを OFF にします。
③ ▽/△キー操作で中継ハングアップを合わせます。

3-6　中継アラーム

設定値：オフ/オン（初期値：オフ）

中継器から送信される中継動作終了の音を設定できます。

① 電源を切った状態でランプが青色点灯するまで電源キーと PTT キーを同時に長押しします。
キーを放し「プププ」音が鳴ったあと、10 秒以内に「▽ → ▽ → 電源」の順番で押し、設定モードに移ります。
② 5 番スイッチを ON、1～4 番スイッチを OFF にします。
③ ▽/△キー操作で中継アラームをオンまたはオフに合わせます。

4．設定値送信

PTT キーを約 3 秒間長押しで「設定内容を無線通信します」が鳴り、ランプが赤色点滅し送信します。

設定値送信中に電源を切った場合や、送信時間制限が満了した場合「3．設定項目」の設定内容（3-1～3-4）が本製品に反映されます。その後再度「2．設定モード」に入った場合は、反映されている設定内容が「3．設定項目」で引き継がれます。

注意 ・設定値送信前に電源を切ると「3．設定項目」の設定内容が初期値に戻りますのでご注意ください。

・設定値送信中は誤判定を防ぐため近距離でおこなってください。近くに強力な外来電波があると誤判定することがあります。

・設定値送信中は電源を切らないでください。正しく設定されないことがあります。設定値送信を途中で停止したいときは電源を切るか、送信後約 1 分満了時に「ププ」音とともに設定値モードに移ります。

・設定値送信中は本製品のアンテナを上向きにした状態でおこなってください。

注意 ・設定値送信中に電源を切った場合や、送信時間制限が満了した場合「3．設定項目」の設定内容（3-1～3-4）が本製品に反映されます。

・設定値送信後はリモコンロックがかかり各種キー・スイッチ操作でのチャンネル・グループや「3．設定項目」の設定内容（3-1～3-5）変更はできませんのでご注意ください。変更する場合はリセットしてください。リセットすると本製品に反映されている設定内容が消去されますのでご注意ください。

・エアクローンに関して親機からリモコンロック無効の設定値がクローンされた場合、中継リモコン設定モードに入れませんのでご注意ください。

・エアクローンに関して親機からリモコンロック有効の設定値がクローンされた場合、中継リモコン設定モードに入れますが、設定値の変更ができないのでご注意ください。設定値の送信のみ使用できます。

5. 中継器設定

①中継器の電源を切ります。

②電源を切った状態でランプが青色点灯するまで電源キーとPTT キーを同時に長押しします。
キーを放し「ププププ」音が鳴ったあと、10 秒以内に「▽ → ▽ → 電源」の順番で押し、設定モードに入ります。

③中継器へ送信する設定内容を準備します。

④本製品の「４．設定値送信」を実行します。

⑤送信が始まったら速やかに中継器の電源を入れます。(AC アダプターを AC コンセントに接続します)
設定用の信号を受信し始めます。

⑥設定内容の送信が終わると、本製品のランプが緑色点灯し「プルル」音が鳴ります。
中継器は「〇〇〇 r Emcon」と表示され、設定内容が自動的に切り替わり、中継器として動作します。
本製品も自動的に通話モードに切り替わり、子機として使用できます。(ランプ：青色点灯)

メモ 自動的に通話モードに切り替わった場合は、「3. 設定項目」の設定内容(3-1～3-4)が本製品に反映されます。

注意 本製品が連結中継モードの場合は先にリセット(初期化)してから、中継リモコンの設定モードに入ってください。
リセットするには、電源を切った状態で電源+△+PTT キーを 5 秒間押し続けます。途中でランプが青色点灯しますが、そのまま押し続けると黄色と紫色の交互点滅に変わり「初期化しました」が鳴り、リセットされます。

DJ-PX7 アプリ設定マニュアル

アルインコ株式会社
電子事業部

はじめに…

この度はアルインコ特定小電力ハンディトランシーバー DJ-PX7 をお買い上げいただきまことにありがとうございます。
アプリ設定マニュアルは本製品をより使いやすくするために付属の取扱説明書にあるアプリ設定の内容を補完します。
ご使用前に付属の取扱説明書と合わせて、必ずお読みください。

本資料の使用に関して……

商標等について………

重要なご注意…………

付属の取扱説明書にあるチャンネルやグループ番号などを自分で設定していない方は、このセットモード設定も変更しないでください。本製品は設定を表示する液晶がないので、設定状態が分かりにくくなっています。誤って設定の変更やリセットした場合に「もとに戻したい」と相談されても、もとの設定が分からないためサポートができません。
管理者が居なくなった、誰が設定したか分からない、というときはすべての無線機をリセットして、新たに同じ設定に合わせこむのが一番早くて確実な方法です。

目次

1. アプリ設定
本製品はスマートフォンのアプリ「DJ-PX7」を使って、チャンネル・グル―プ番号などを自動設定できます。
アプリ画面上で操作しスマートフォンからの設定音を本製品が読みとる機能です。
本製品は設定を表示する液晶がないので手動での設定が分かりにくいですが、本機能によりアプリ画面上で簡単に設定できます。

2. ダウンロード
アプリ設定用のアプリ「DJ-PX7」をダウンロードします。

◆Android をご利用の場合
①「Play ストア」をタップします。
② 画面上部の検索窓に「DJ-PX7」と入力してください。
③ 検索結果に表示された「DJ-PX7」をタップし、インストールします。

または下記 URL からインストールしてください。
https://play.google.com/store/apps/details?id=com.alinco.vn.dj_px7_settei

◆iOS をご利用の場合
①「App Store」をタップします。
②「検索」のアイコンをタップします。
③ 検索窓が表示されるので、「DJ-PX7」と入力してください。
④ 検索結果に表示された「DJ-PX7」をタップし、入手します。

または下記 URL から入手してください。
https://apps.apple.com/us/app/dj-px7/id1484783682?ls=1

3．設定画面

アプリ｢DJ–PX7｣を起動し、設定を行います。

3–1　初期画面

アプリでは設定を大きく2つに分けています。

Android の場合

iOS の場合

①通常セットモード

音量、チャンネル、グループと本体背面にある設定スイッチ No.1～No.9 までを設定します。

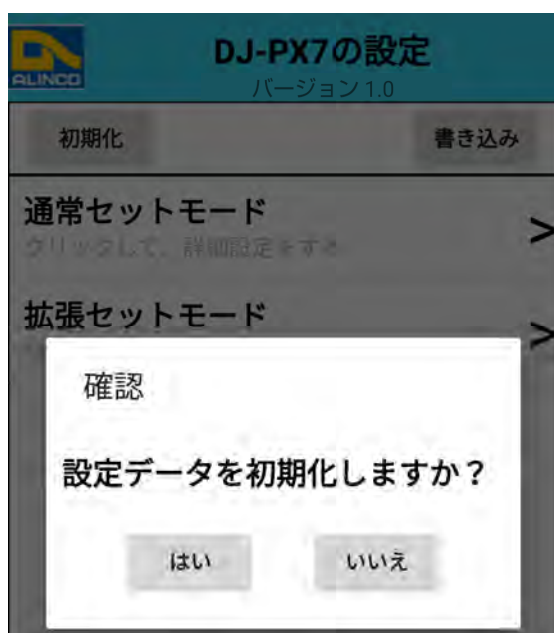
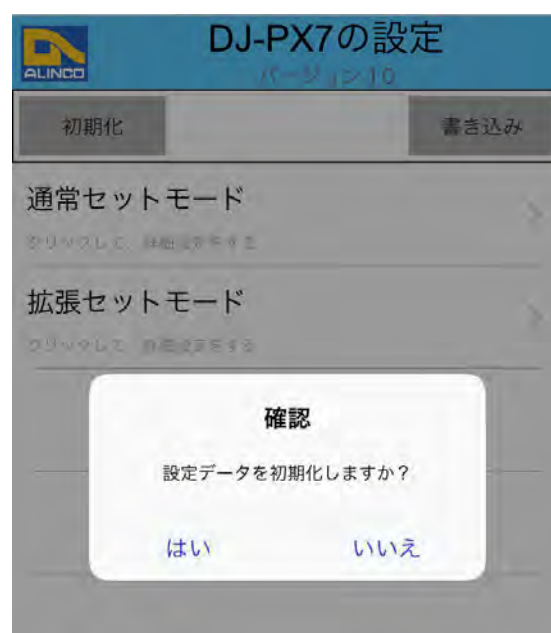
②拡張セットモード

拡張セットモードや受信音ミュート･中継器リモコン設定･連結中継モードに関係する項目を設定します。

③書き込みボタン

書き込みボタンをタップすると、本製品に設定するための設定音がスマートフォンのスピーカーから出力されます。

④初期化ボタン

初期化ボタンをタップすると、｢設定データを初期化しますか｣と確認画面が出ます。｢はい｣をタップすると、アプリ画面上の設定したデータが初期化されます。

Android の場合

iOS の場合

注意 アプリ設定はすべて（通常・拡張）の設定項目を本製品に設定します。設定前に本製品を手動で設定変更していた項目も、初期値や変更した設定値へ設定されるのでご注意ください。

3-2 通常セットモード
音量、チャンネル、グループと本体背面にある設定スイッチ No.1～No.9 までを設定します。
画面左上の「←」をタップすると初期画面に戻ります。

Android の場合

iOS の場合

メモ 各設定項目の詳細については別紙の「DJ-PX7 セットモード」を参照ください。

1. 音量
設定値：0～30（初期値：15）
音量を 30 段階から設定します。

2. 通信方式
設定値：交互通話／中継通話（初期値：交互通話）
交互通話か中継通話を選択します。

チャンネル
交互通話を選択しているとき　設定値：L01～L09, b01～b11（初期値：L01）
中継通話を選択しているとき　設定値：L10～L18, b12～b29（初期値：L10）
チャンネルを設定します。

メモ ▼か選択タブをタップすると一覧が表示されます。

2. グループトーク
有効　　　　　　 設定値：オフ/オン（初期値：オフ）
グループ番号　 設定値：1～50（初期値：1）
グループを設定します。有効にする場合はグループトークの有効をオンにしてください。

メモ　スライドスイッチをタップするとオンとオフが切り替わります。　オフ　オン

3. PTT ホールド（送信保持）
設定値：オフ/オン（初期値：オフ）
PTT ホールドを設定します。

4. VOX（音声検知送信）
設定値：オフ/オン（初期値：オフ）
VOX を設定します。

5. ビープ音+音声ガイダンス
設定値：オフ/オン（初期値：オン）
ビープ音+音声ガイダンスを設定します。

6. コンパンダー(雑音低減)
設定値：オフ/オン（初期値：オフ）
コンパンダーを設定します。

7. エンドピー(送信終了音)
設定値：オフ/オン（初期値：オフ）
エンドピーを設定します。

8. コールバック(音声モニター)
設定値：オフ/オン（初期値：オフ）
コールバックを設定します。

9. マイク選択
設定値：マイク 1/マイク 2（初期値：マイク 1）
マイクを選択します。

4.拡張セットモード
拡張セットモードや受信音ミュート・中継器リモコン設定・連結中継モードに関係する項目を設定します。
画面左上の「←」をタップすると初期画面に戻ります。

Android の場合

iOS の場合

メモ 各設定項目の詳細については別紙の「DJ-PX7 拡張セットモード」、「DJ-PX7 受信音ミュート」、「DJ-PX7 中継器リモコン」、「DJ-PX7 連結中継」を参照ください。

1. イヤホン断線検知
設定値：オフ/オン（初期値：オン）
イヤホン断線検知を設定します。

メモ スライドスイッチをタップするとオンになります。 オフ オン

2. AGC 設定
設定値：オフ/オン（初期値：オン）
AGC 設定を設定します。

3. トーンマージン設定
設定値：オフ/オン（初期値：オフ）
トーンマージンを設定します。

4. PTT オン/オフ設定
設定値：オフ/オン（初期値：オン）
PTT オン/オフを設定します。

5. 送信出力設定
設定値：High(10mW)/Low(1mW)（初期値：High）
送信出力を設定します。

6. 中継設定
設定値：A/B（初期値：A）
中継を設定します。

7. 中継接続手順
設定値：オフ/オン（初期値：オン）
中継接続手順を設定します。

8. マイク音量
設定値：1～7（初期値：4）
マイク音量を設定します。

メモ ▼か選択タブをタップすると一覧が表示されます。

9. LED 輝度調整
設定値：OFF/Low/Middle/High（初期値：High）
LED 輝度を調整します。

10. エンドピピ
設定値：オフ/オン（初期値：オフ）
エンドピピを設定します。

11. 受信音ミュート
設定値：OFF/ハンド/タッチ/ボイス（初期値：OFF）
受信音ミュートを設定します。

12. 受信音ミュートレベル
設定値:1～7(初期値:4)
受信音ミュートレベルを設定します。

13. 受信音ミュートディレイタイム
設定値:ハンド･タッチ:5 / 10 / 15 / 30 / 60(初期値:15 秒)
ボイス :1 / 2 / 3 / 4 / 5 (初期値:3 秒)
受信音ミュートディレイタイムを設定します。

メモ 受信音ミュートで選択している設定値によって、表示される設定時間が異なります。

14. 中継ハングアップ
設定値:OFF/0.5 秒/1 秒/2 秒(初期値:OFF)
中継ハングアップを設定します。

15. 中継アラーム
設定値:オフ/オン(初期値:オフ)
中継アラームを設定します。

16. 連結中継モード
設定値:オフ/オン(初期値:オフ)
連結中継モードを設定します。

17. チャンネルグループ
設定値:A～H(初期値:A)
チャンネルグループを設定します。

18. 中継器番号
設定値:1～4(初期値:1)
中継器番号を設定します。

19. スキャン設定
設定値:オフ/オン(初期値:オン)
スキャン設定を設定します。

20. アクセス速度
設定値:オフ/オン(初期値:オフ)
アクセス速度を設定します。

21. アクセス音
設定値:OFF/アクセス音/エンドピー/ALL(初期値:ALL)
アクセス音を設定します。

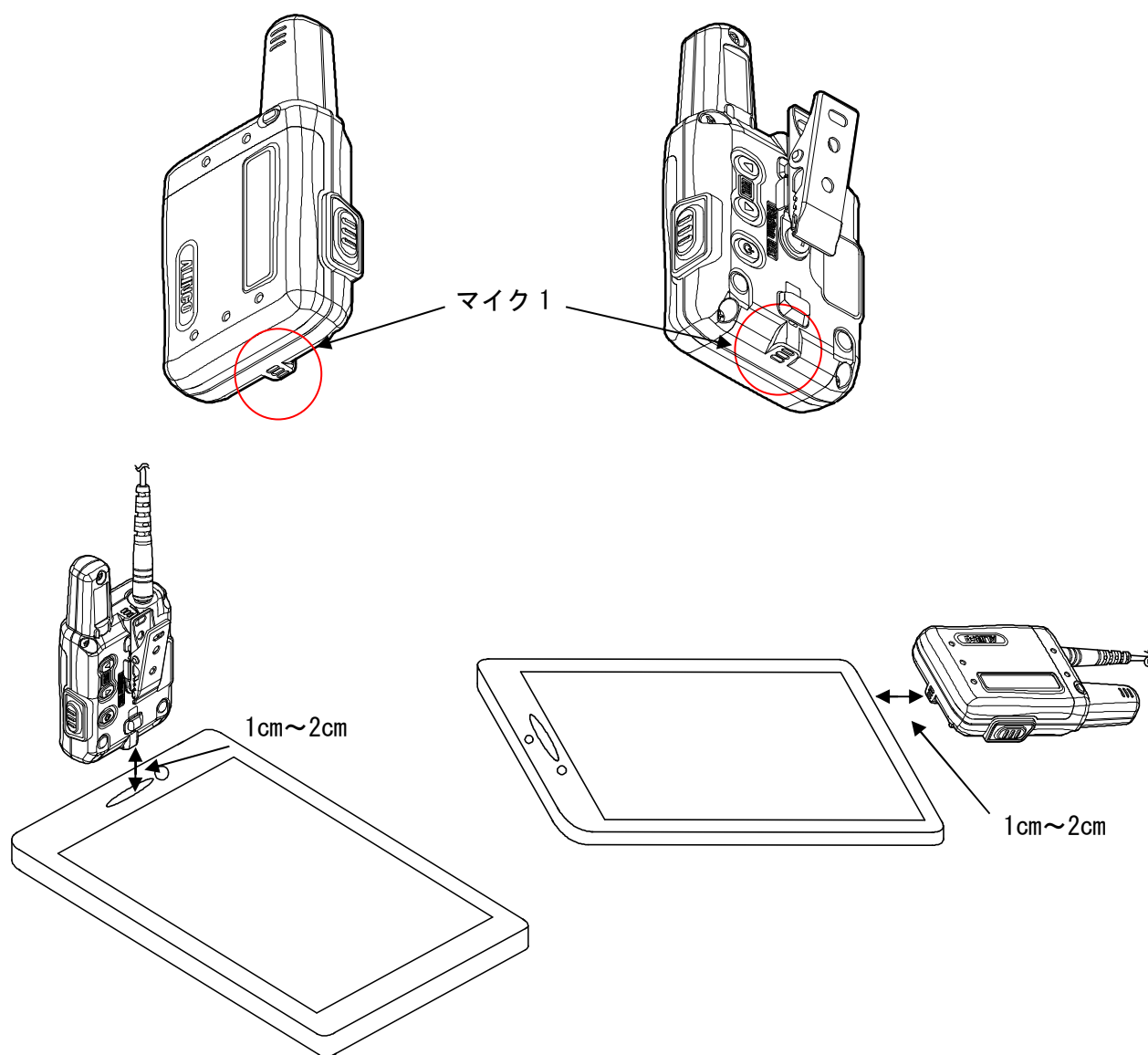
22. ビーコン設定
設定値 OFF/5 秒/10 秒/20 秒/30 秒/40 秒/50 秒/60 秒 (初期値:10 秒)
ビーコン設定を設定します。

23. スキャンガイダンス設定
設定値:オフ/オン(初期値:オン)
スキャンガイダンを設定します。

5. アプリ設定モード
以下の操作をして本製品の「アプリ設定モード」を起動させ、アプリで設定を本製品に書き込みます。

① 電源がオフの状態で、ランプが青色点灯するまで電源キーと PTT キーを同時に長押しします。

② キーを放し「プププ」音が鳴ったあと 10 秒以内に、
「▽ → △ → 電源 → △ → △」の順番で押すと
「アプリ設定モードです。・・・」が鳴りアプリ設定モードに入ります。（ランプ：紫色点灯）

④ 本製品からのお知らせが終了し、ランプが赤色点灯に切り替わったら、本製品のマイク1にスマートフォンのスピーカーを 1cm～2cm の距離に近づけてください。

⑤ アプリの「書き込み」ボタンを押してください。

⑥ 本製品のランプが緑色に点灯することを確認してください。
ランプが赤色点灯していたり、「設定音が正しく認識できません・・・」とお知らせしている場合は、スマートフォンからの音が小さすぎます。スマートフォンの音量を調整し、お知らせが鳴っていないときに再度書き込みボタンを押してください。

ランプが黄色点灯し、「データ受信に失敗しました。･･･」とお知らせした場合は、お知らせ終了後ランプが赤色点灯に戻ったことを確認してから再度書き込みボタンを押してください。

⑦ 自動設定が完了したらランプが緑色点滅になり、チャンネルとグループの番号をお知らせ後に自動的に電源が切れます。

⑧ 本製品の設定状態を確認してください。
本製品の電源を入れます。
正常に設定された場合、起動音の後に「アプリ設定」に続き、アプリで設定したチャンネルとグループをお知らせします。正しく送受信できることを確認してください。

注意 ・アプリ設定は十分に電池が充電された状態でお使いください。
充電が少ない電池を使用し設定中に電源が切れた際、正しく設定されないことがあります。

・自動設定が完了するまで 15 秒ほど要します。

・設定中にランプが黄色点灯し、「データ受信に失敗しました。･･･」とお知らせした場合は途中でデータの受信に失敗しています。音量が少し小さい、逆に音量が大きすぎる、周囲の音が大きい等の原因があります。音量を調整したり、本製品とスピーカーとの距離を調整したりしてから再度書き込みボタンを押してください。

・アプリで自動設定が完了すると、誤動作を防ぐため DIP スイッチやコマンドによる設定の変更ができません。本製品で設定を変更する場合は、本製品をリセットしてください。

・アプリで中継通話に設定すると、中継リモコン設定モードに入れますが、設定値の変更ができないのでご注意ください。設定値の送信のみ使用できます。

・アプリで連結中継モードに設定すると、設定モードに入れますが、設定値の変更ができないのでご注意ください。スキャンをオフに設定している場合は、設定値の送信のみ使用できます。